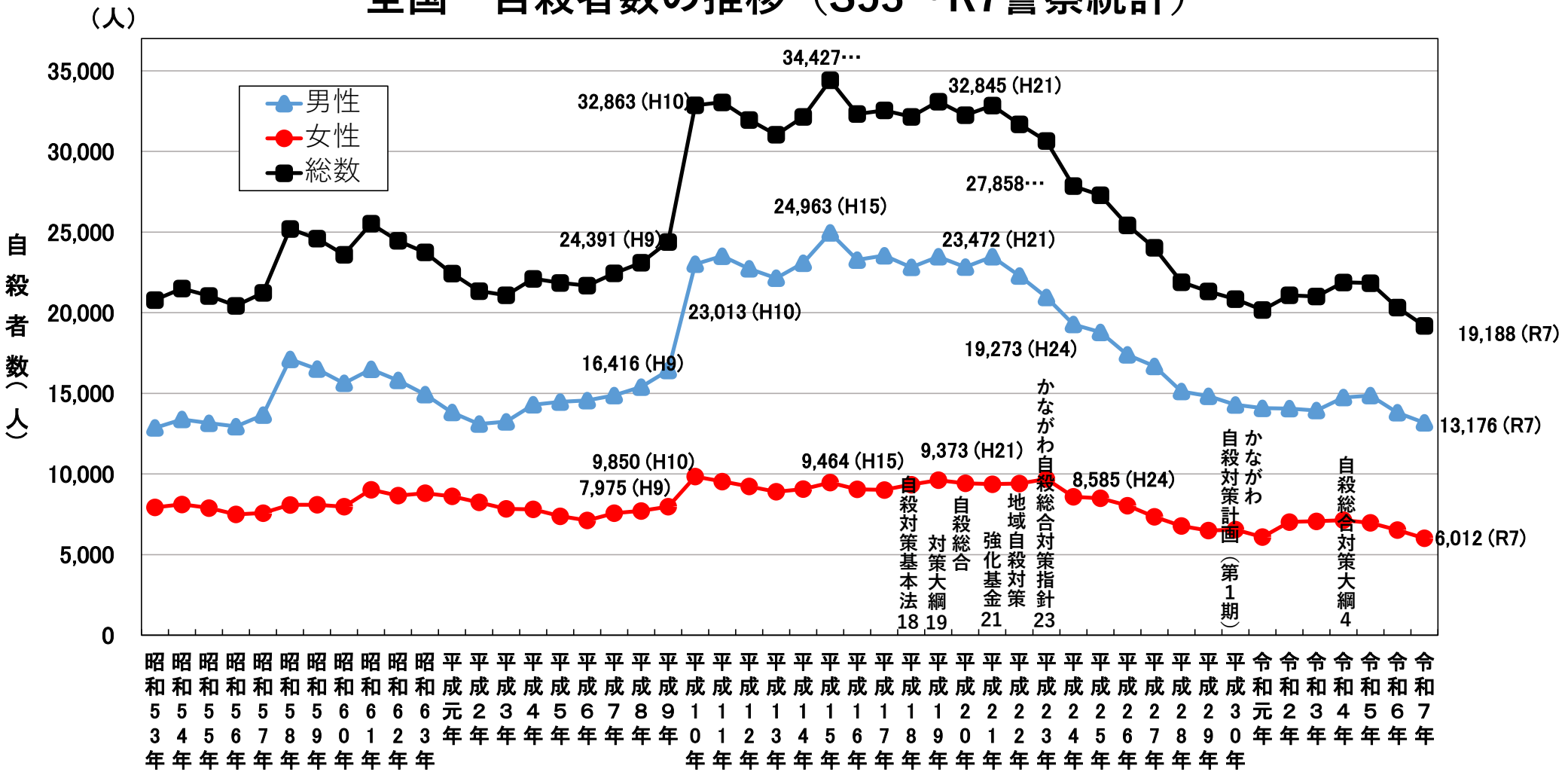
資料１

神奈川県における自殺の状況（令和７年版）

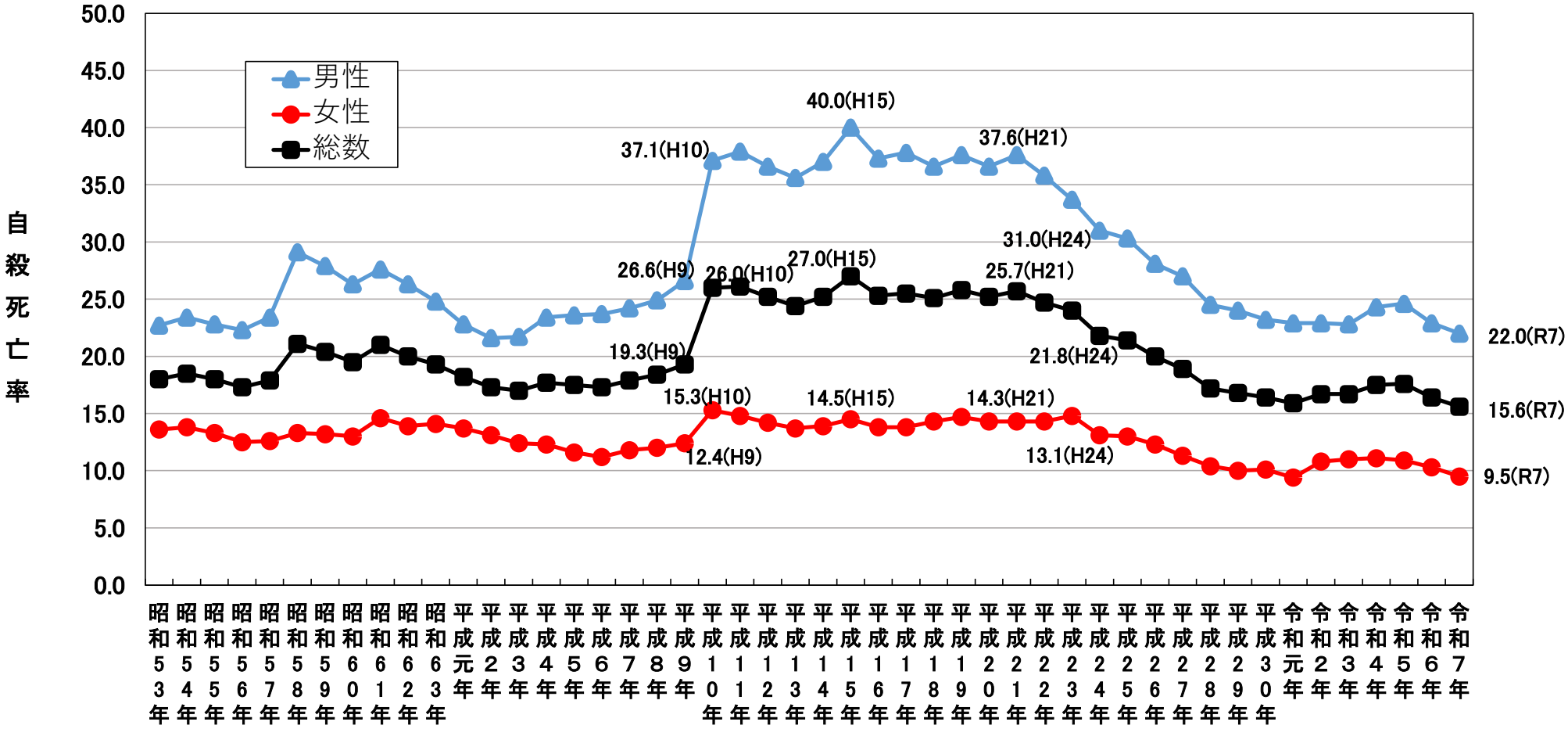
令和８年７月30日
第41回　かながわ自殺対策会議

全国・自殺者数の推移（S53～R7警察統計）



資料：警察庁自殺統計原簿データより厚生労働省作成

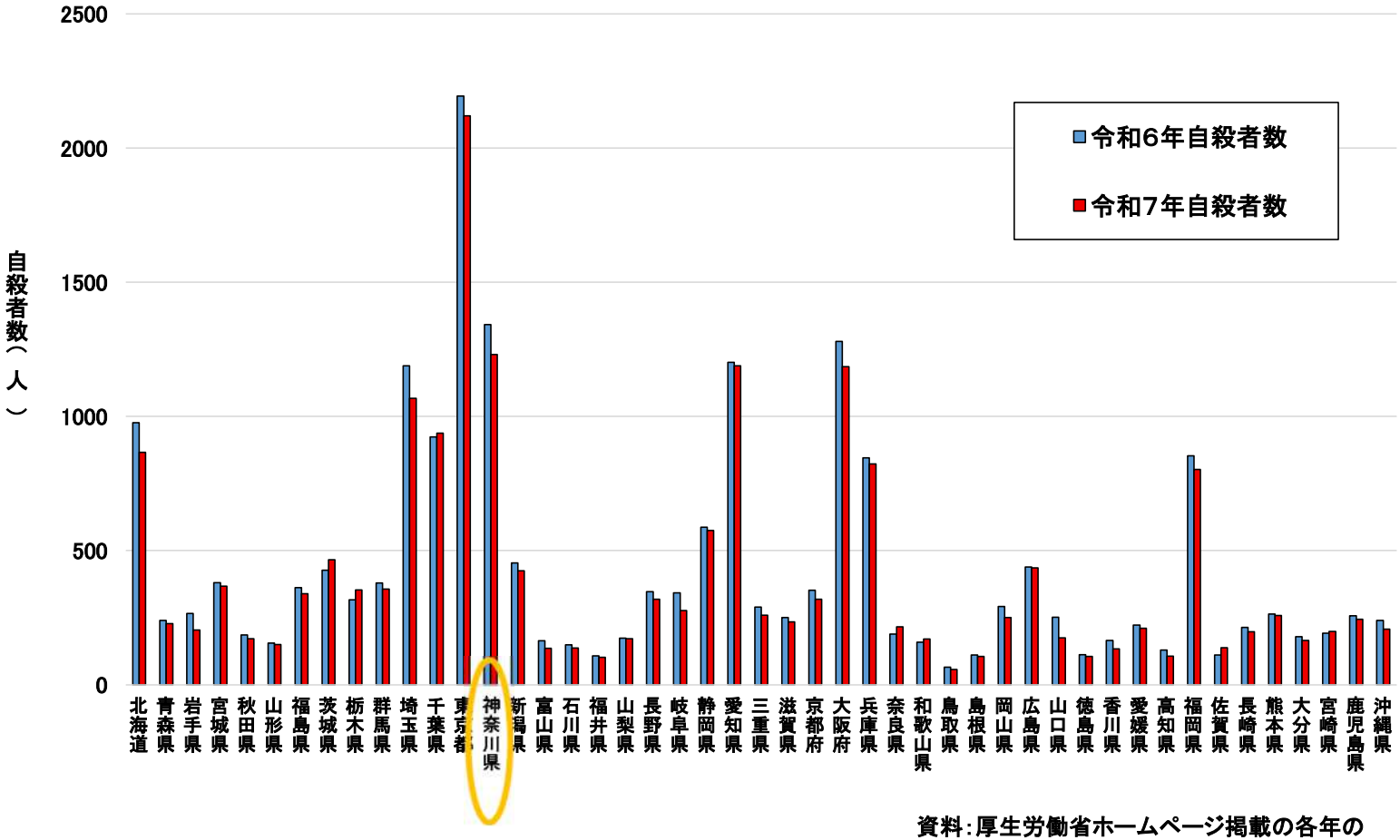
全国・自殺死亡率の推移（S53～R7警察統計）



※自殺死亡率は、人口10万人当たりの自殺者数である。

資料：警察庁自殺統計原簿データ、総務省人口推計より厚生労働省作成

都道府県別自殺者数（令和6年・令和7年）

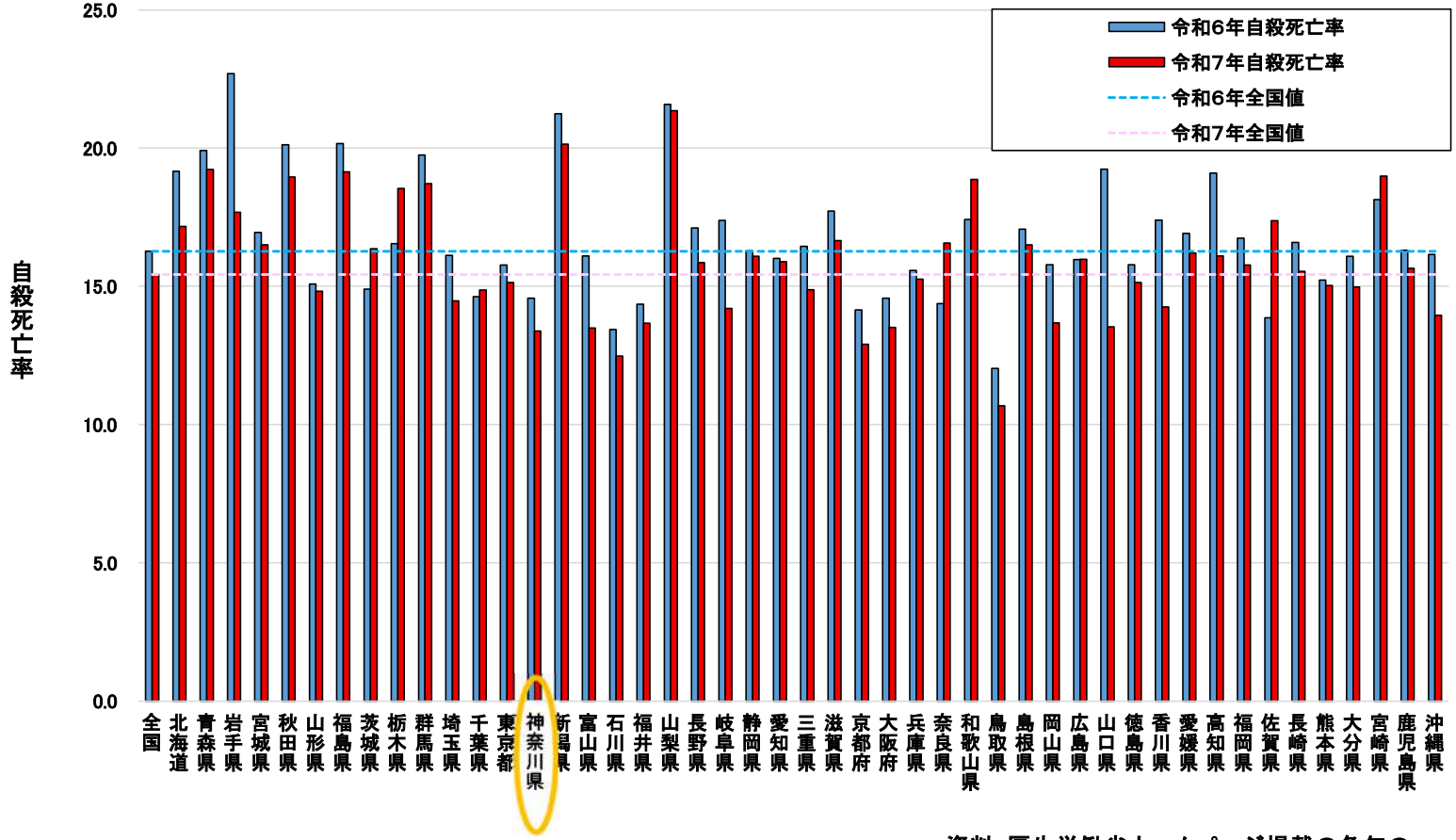


※自殺者数は発見された都道府県別に計上している。

資料：厚生労働省ホームページ掲載の各年の「地域における自殺の基礎資料」のB6表（県・発見日・発見地）より

	自殺者数(R７)	
	低値	高値
①	鳥取県 57	東京都 2120
②	福井県 102	**神奈川県 1231**
③	島根県 106	愛知県 1189
④	徳島県 106 ※3位タイ	大阪府 1185
⑤	高知県 107	埼玉県 1067
全国	１９，１８８	

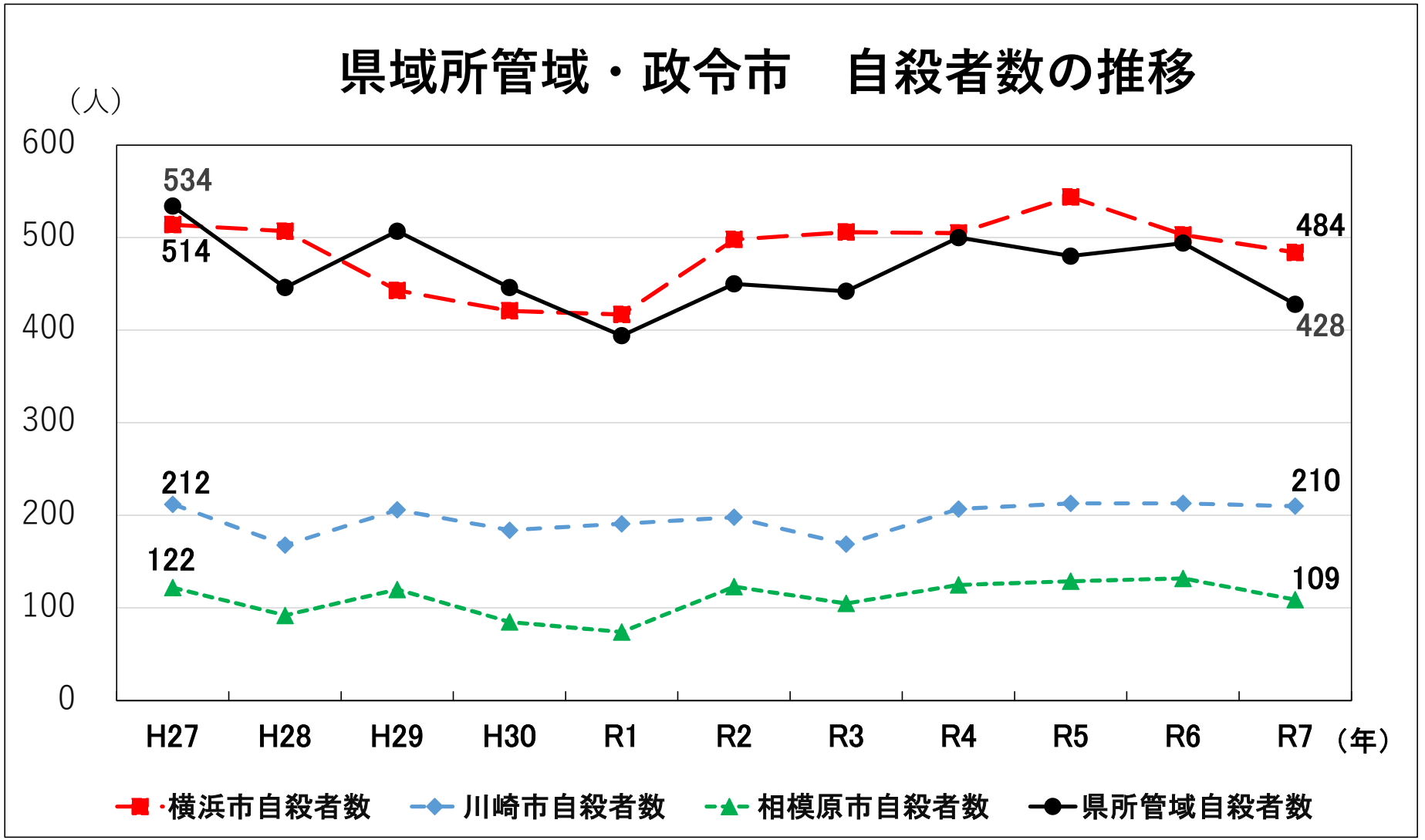
都道府県別自殺死亡率（令和6年・令和7年）

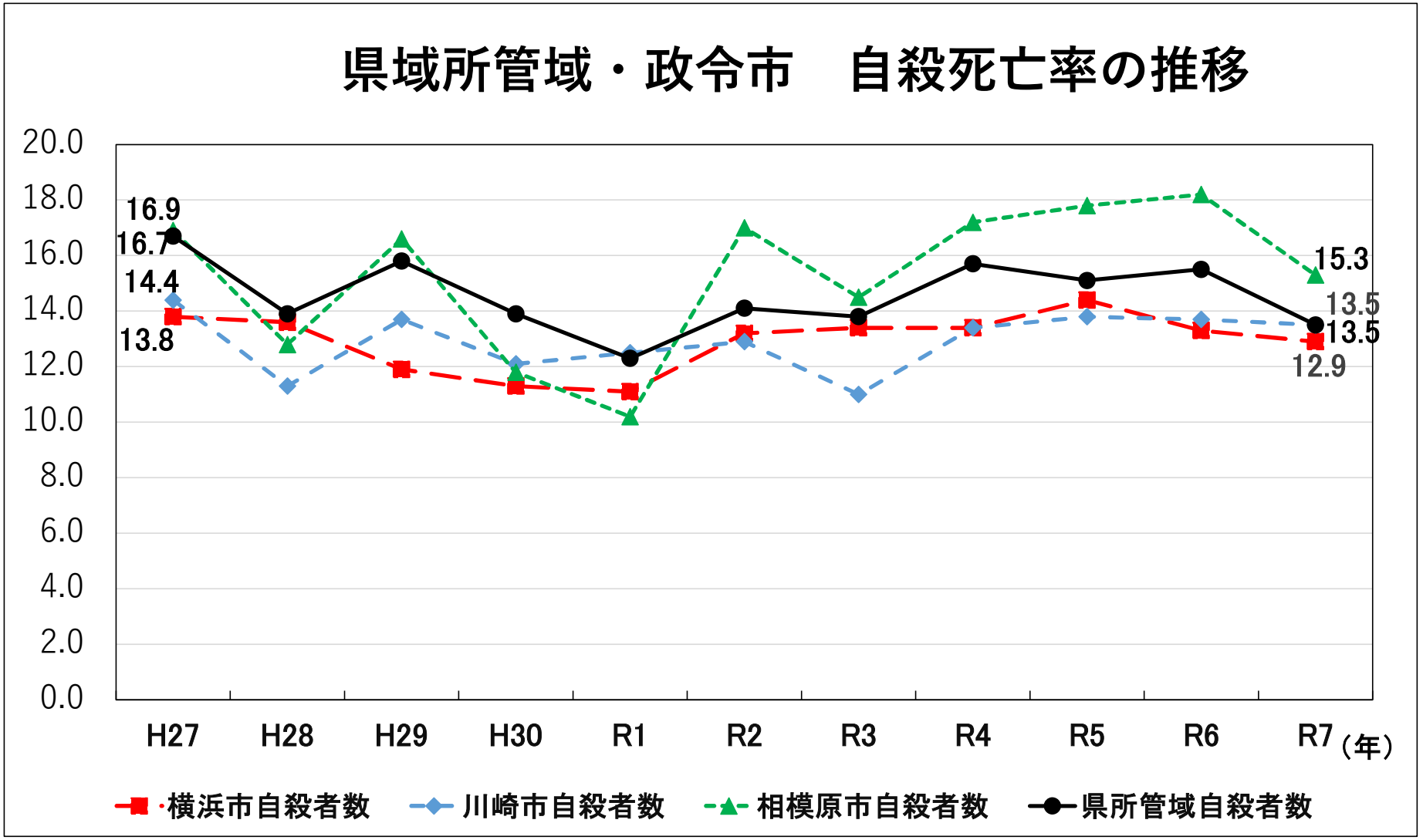


※　自殺者数は発見された都道府県別に計上している。
※　自殺死亡率は、人口10万人当たりの自殺者数である。

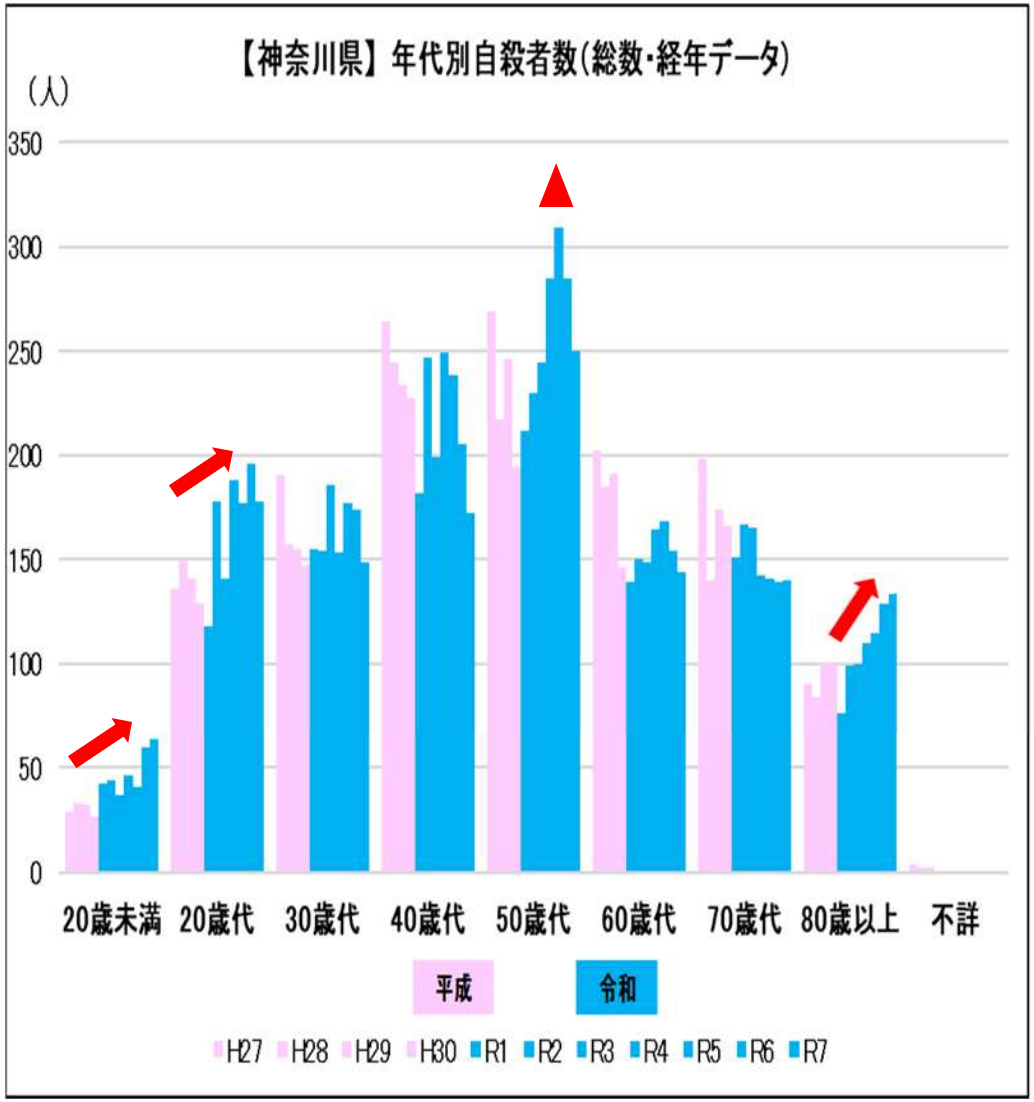
資料：厚生労働省ホームページ掲載の各年の
「地域における自殺の基礎資料」の
B6表（県・発見日・発見地）より

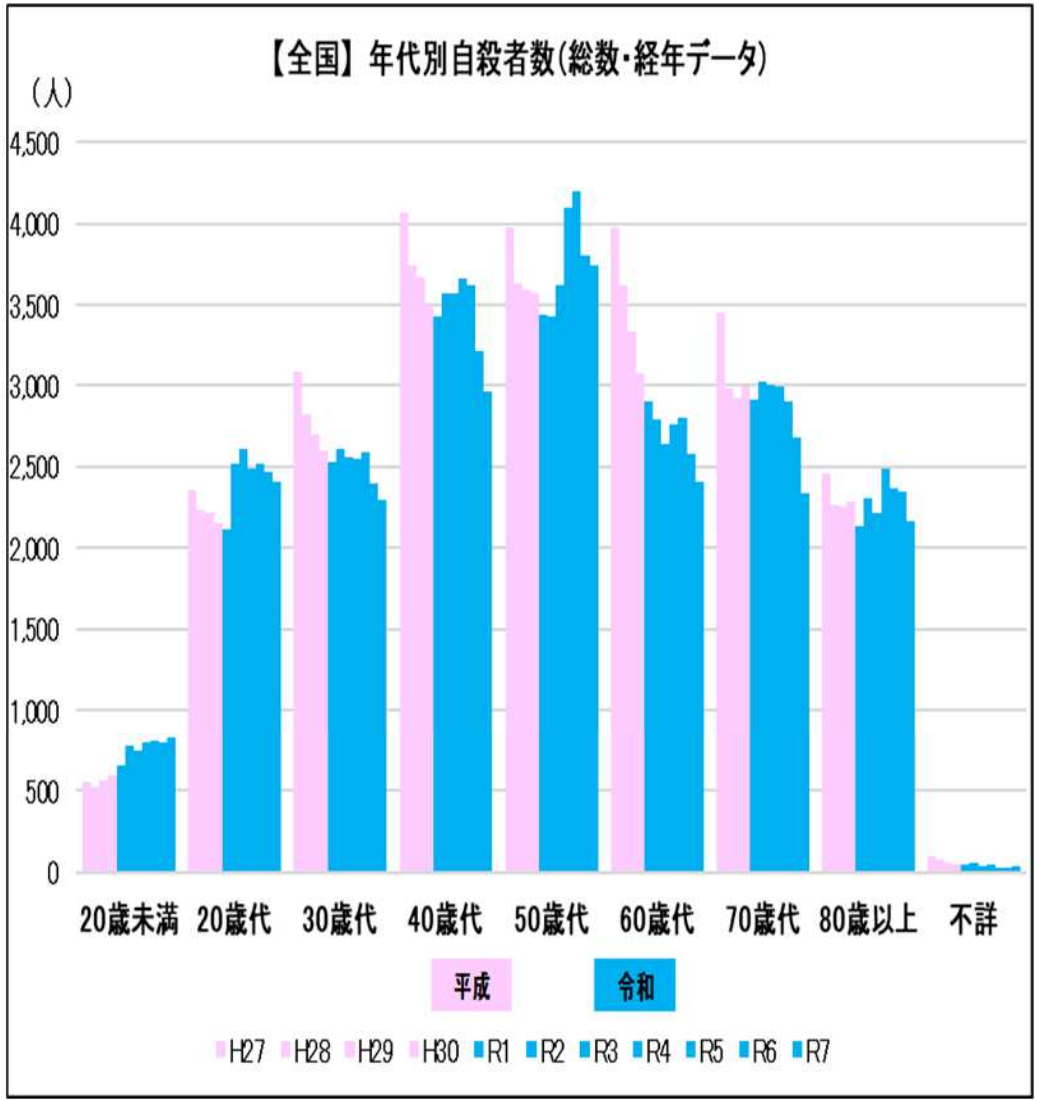
	自殺死亡率（R７）	
	低値	高値
①	鳥取県 10.7	山梨県 21.4
②	石川県 12.7	新潟県 20.1
③	京都府 12.9	青森県 19.2
④	**神奈川県** **13.4**	福島県 19.1
⑤	富山県 13.5	宮崎県 19.0
全国	１５．４	

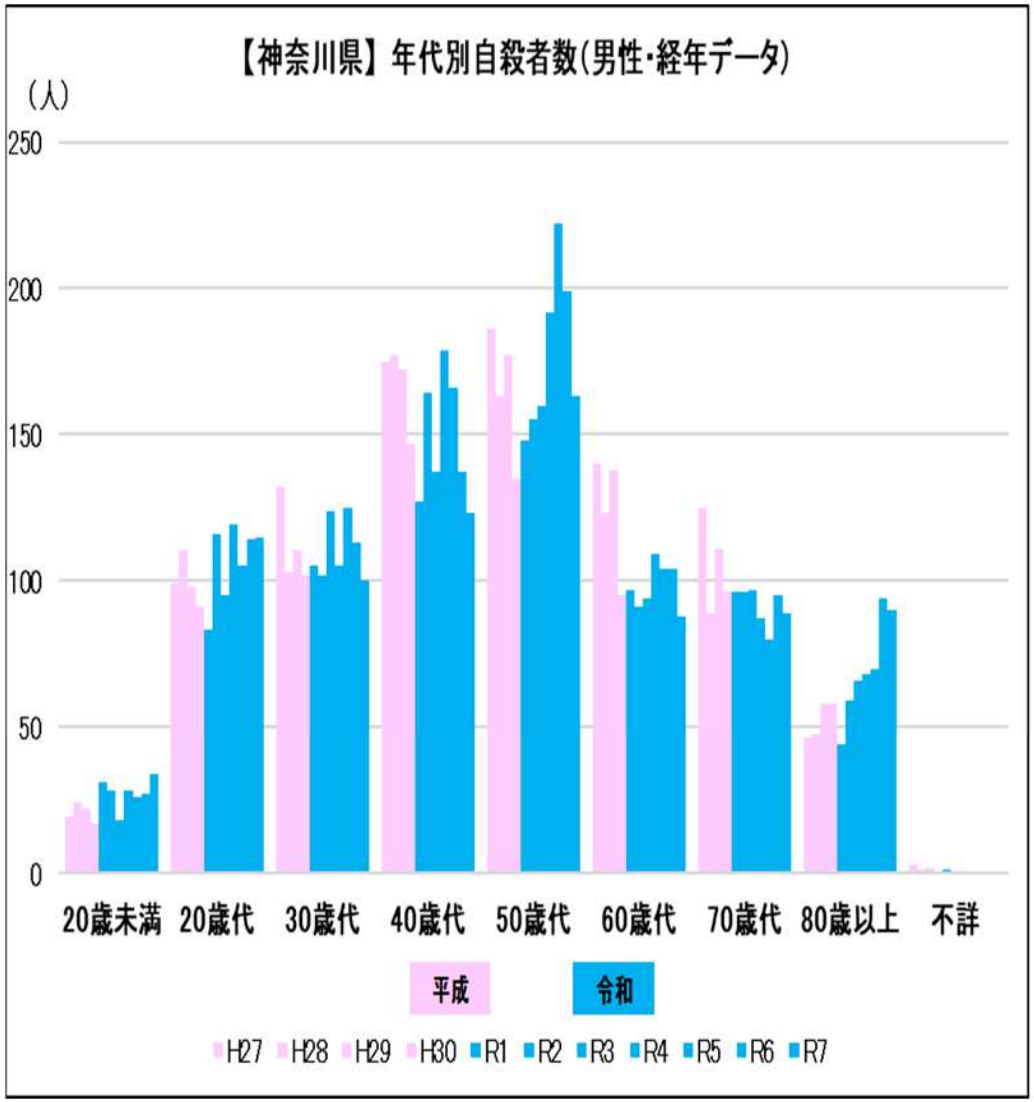

県域所管域・政令市　自殺者数の推移
（人）
600
500
400
300
200
100
0
534
514
484
428
212
210
122
109
H27
H28
H29
H30
R1
R2
R3
R4
R5
R6
R7
（年）
横浜市自殺者数
川崎市自殺者数
相模原市自殺者数
県所管域自殺者数

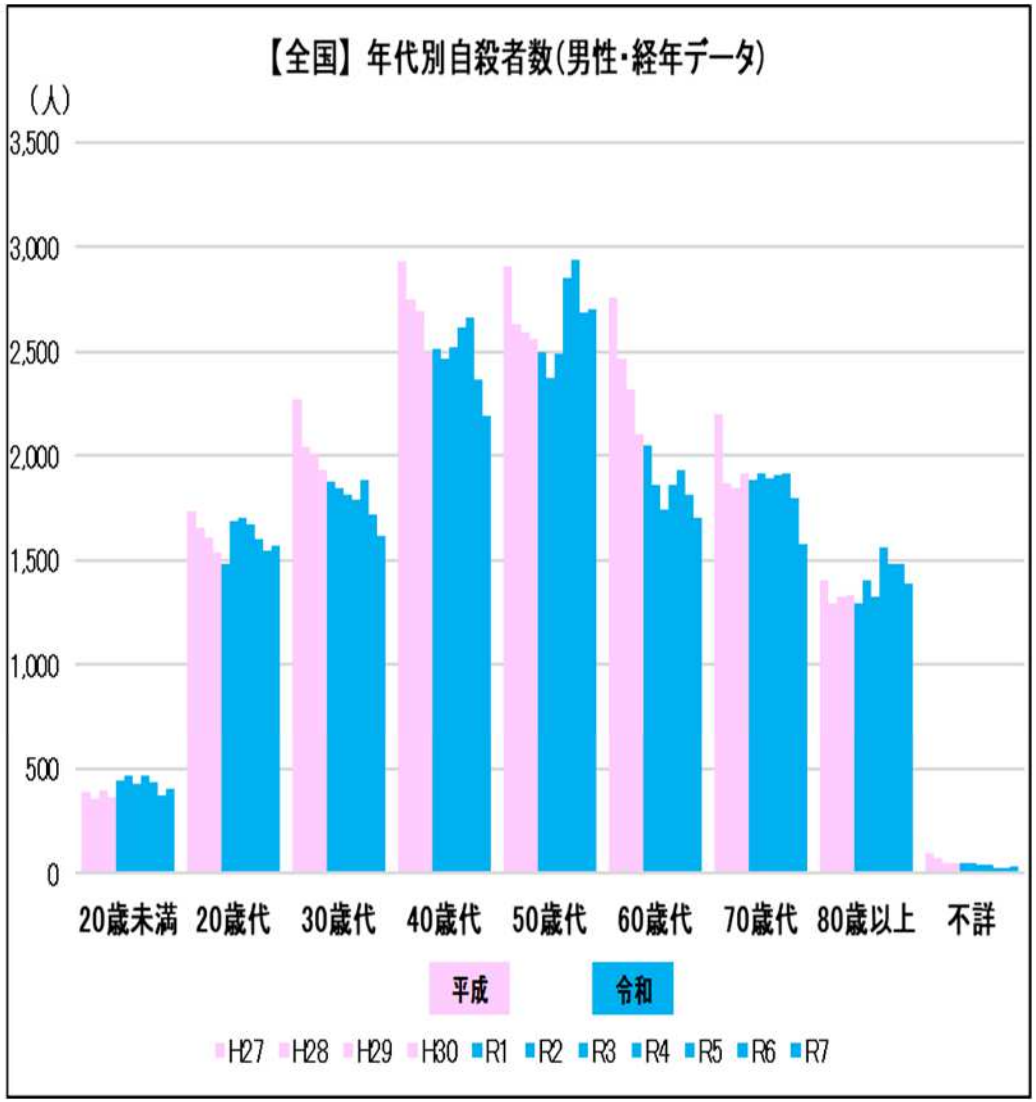

県域所管域・政令市　自殺死亡率の推移
20.0
18.0
16.0
14.0
12.0
10.0
8.0
6.0
4.0
2.0
0.0
16.9
16.7
14.4
13.8
15.3
13.5
13.5
12.9
H27
H28
H29
H30
R1
R2
R3
R4
R5
R6
R7
(年)
横浜市自殺者数
川崎市自殺者数
相模原市自殺者数
県所管域自殺者数

年代別


【神奈川県】年代別自殺者数(総数・経年データ)
(人)
350
300
250
200
150
100
50
0
20歳未満
20歳代
30歳代
40歳代
50歳代
60歳代
70歳代
80歳以上
不詳
平成
令和
H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7


【全国】年代別自殺者数(総数・経年データ)
(人)
4,500
4,000
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
20歳未満
20歳代
30歳代
40歳代
50歳代
60歳代
70歳代
80歳以上
不詳
平成
令和
H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7


【神奈川県】年代別自殺者数(男性・経年データ)
(人)
250
200
150
100
50
0
20歳未満
20歳代
30歳代
40歳代
50歳代
60歳代
70歳代
80歳以上
不詳
平成
令和
H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7


【全国】年代別自殺者数(男性・経年データ)
(人)
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
20歳未満
20歳代
30歳代
40歳代
50歳代
60歳代
70歳代
80歳以上
不詳
平成
令和
H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7

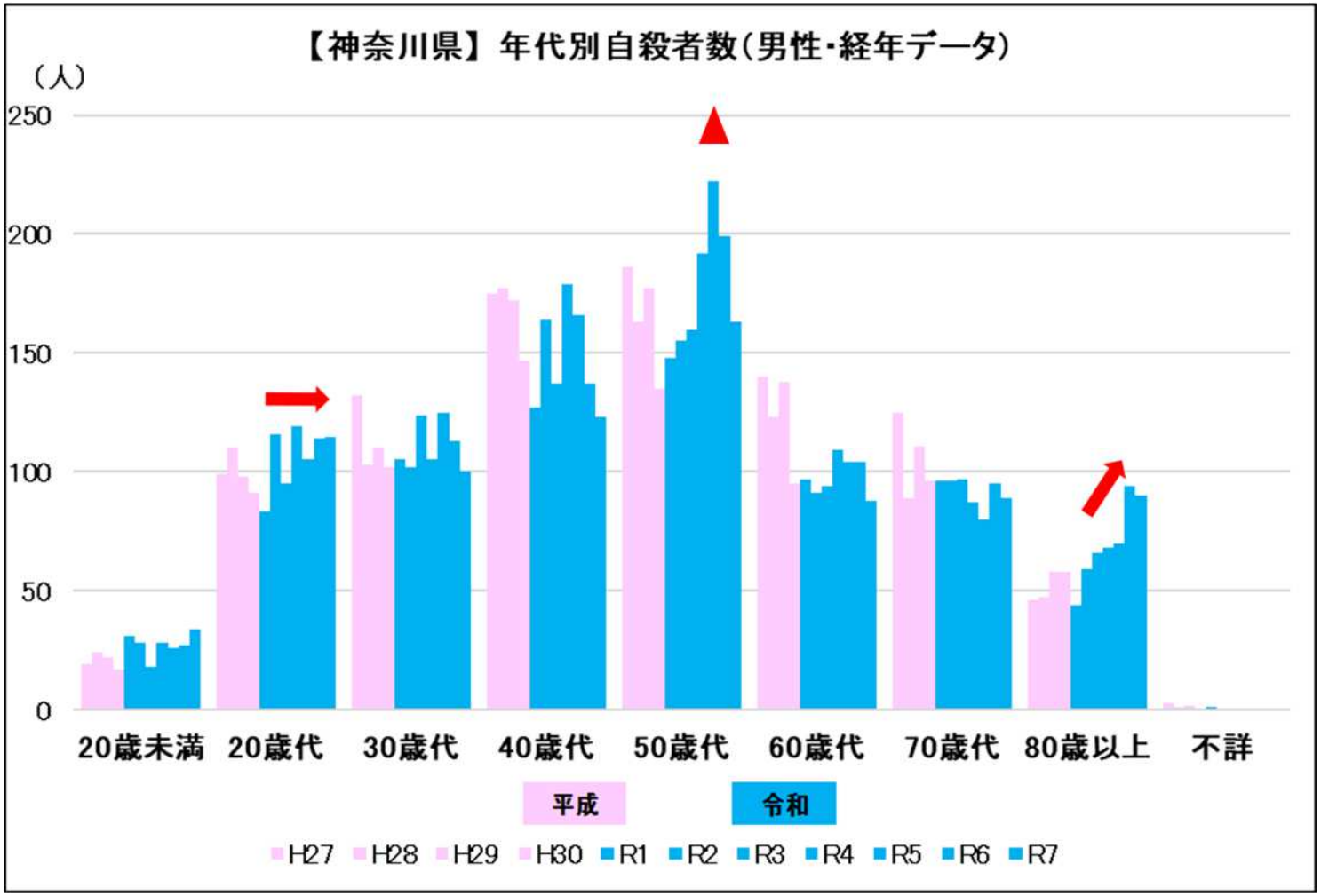
神奈川県
男性の傾向

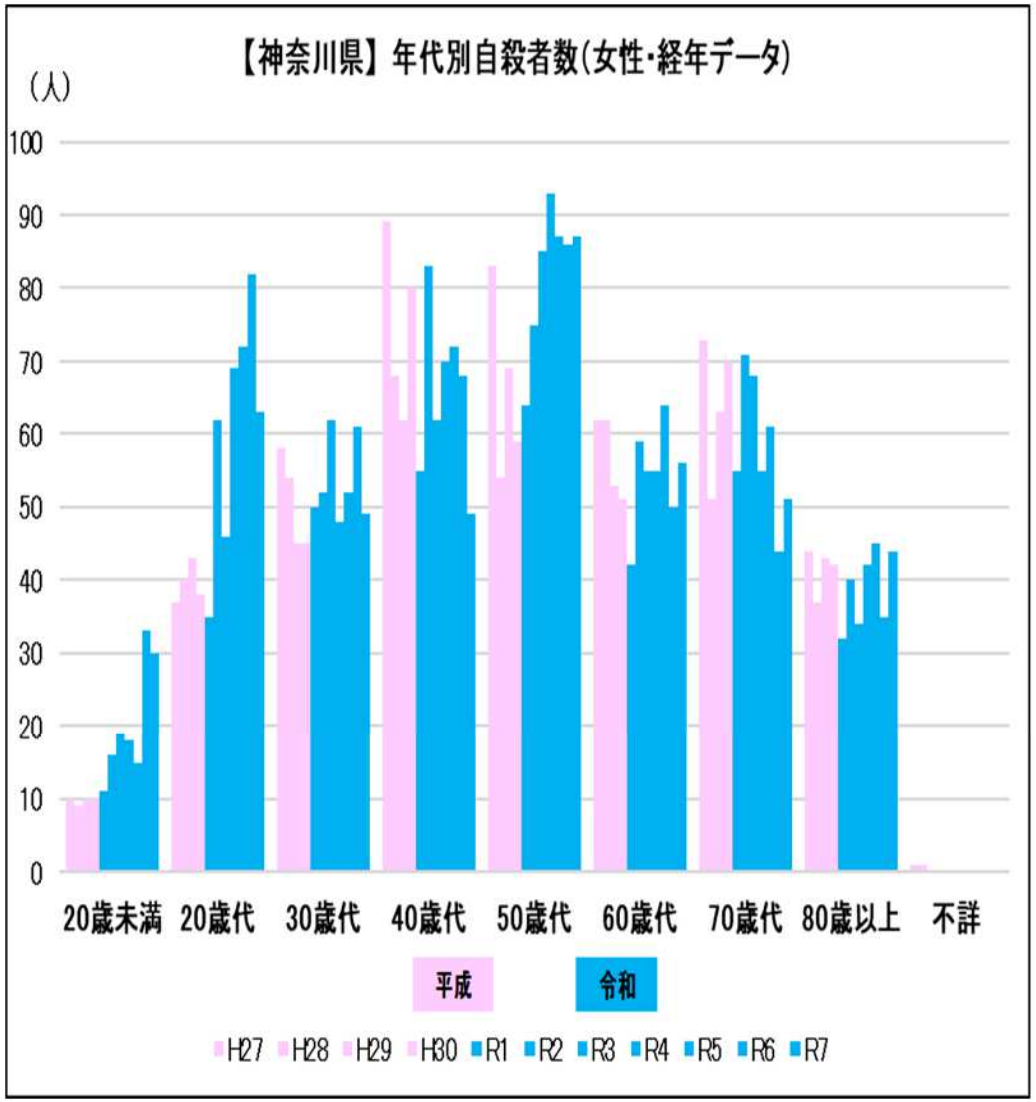
＊50歳代、40歳代、20歳代が多い

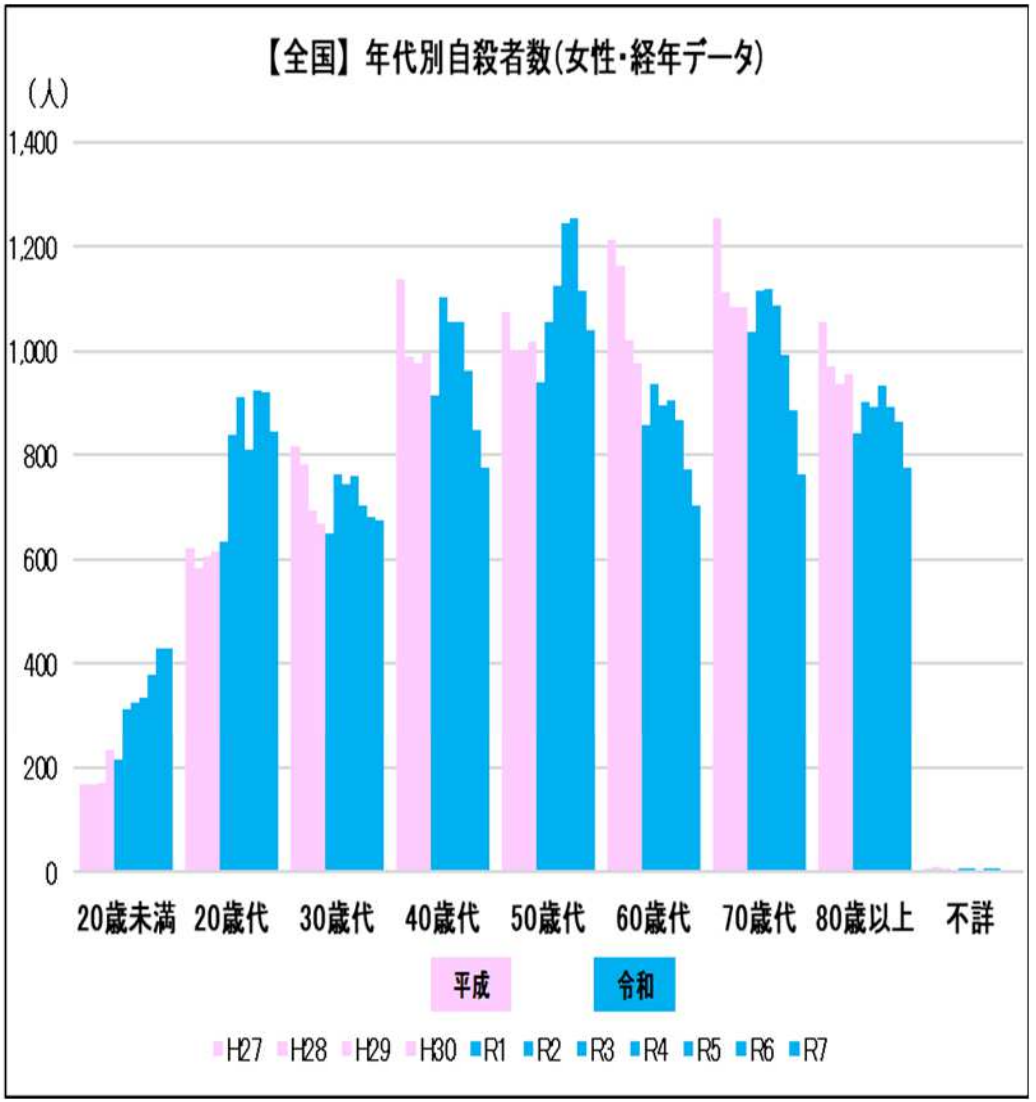
＊20歳代は高止まり

＊20歳未満は増加した

＊80歳以上は、R6年に急増した




【神奈川県】年代別自殺者数(女性・経年データ)
(人)
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
20歳未満
20歳代
30歳代
40歳代
50歳代
60歳代
70歳代
80歳以上
不詳
平成
令和
H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7


【全国】年代別自殺者数(女性・経年データ)
(人)
1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0
20歳未満
20歳代
30歳代
40歳代
50歳代
60歳代
70歳代
80歳以上
不詳
平成
令和
H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7

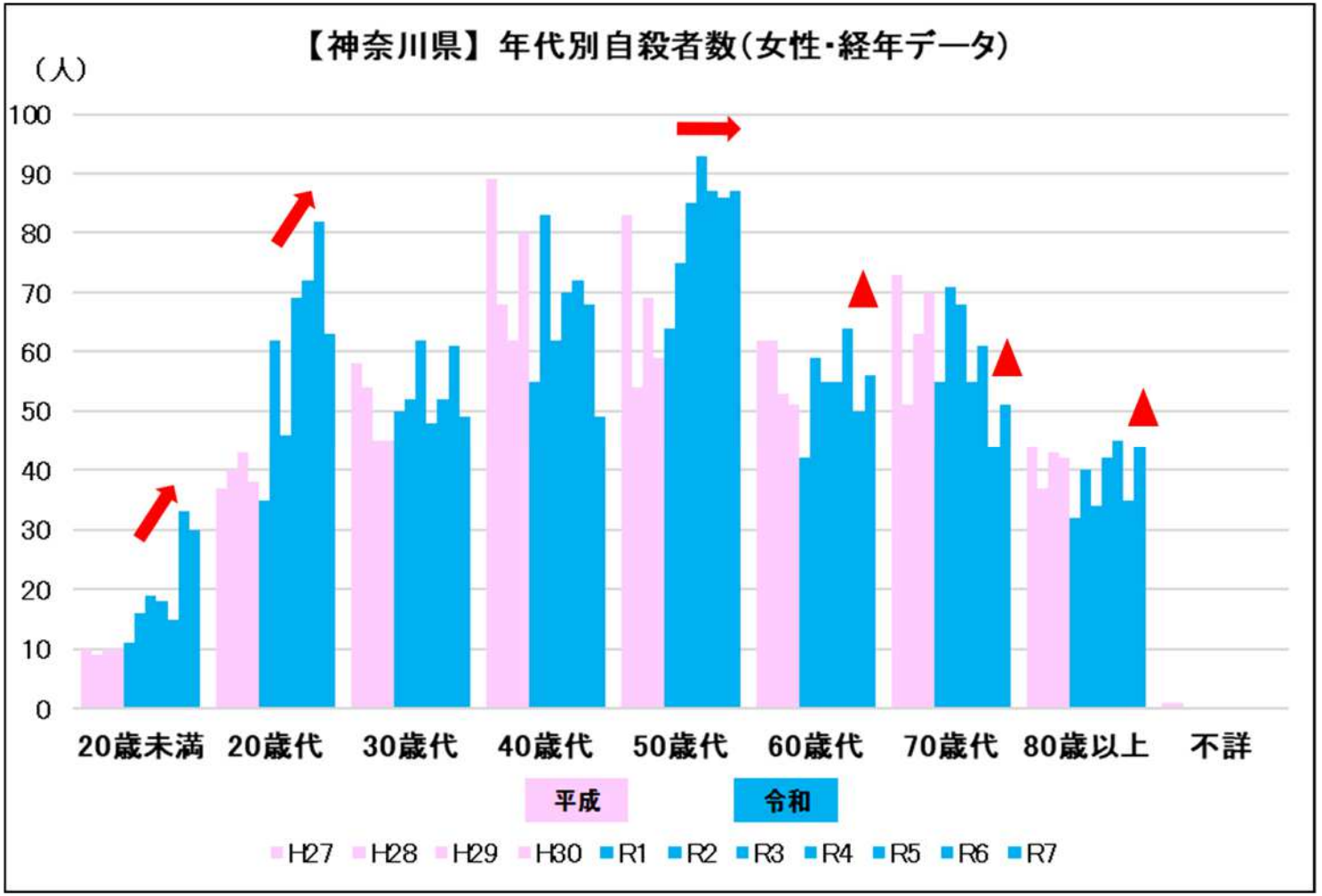
神奈川県
女性の傾向

＊50歳代、20歳代が多い

＊50歳代は高止まり

＊20歳未満はR6年に急増した

＊50歳代以上は、全国では減少傾向であるが、本県はR6年よりR7年に増加している



神奈川県
年代別傾向のまとめ

＊50歳代、20歳代、40歳代の順に多い

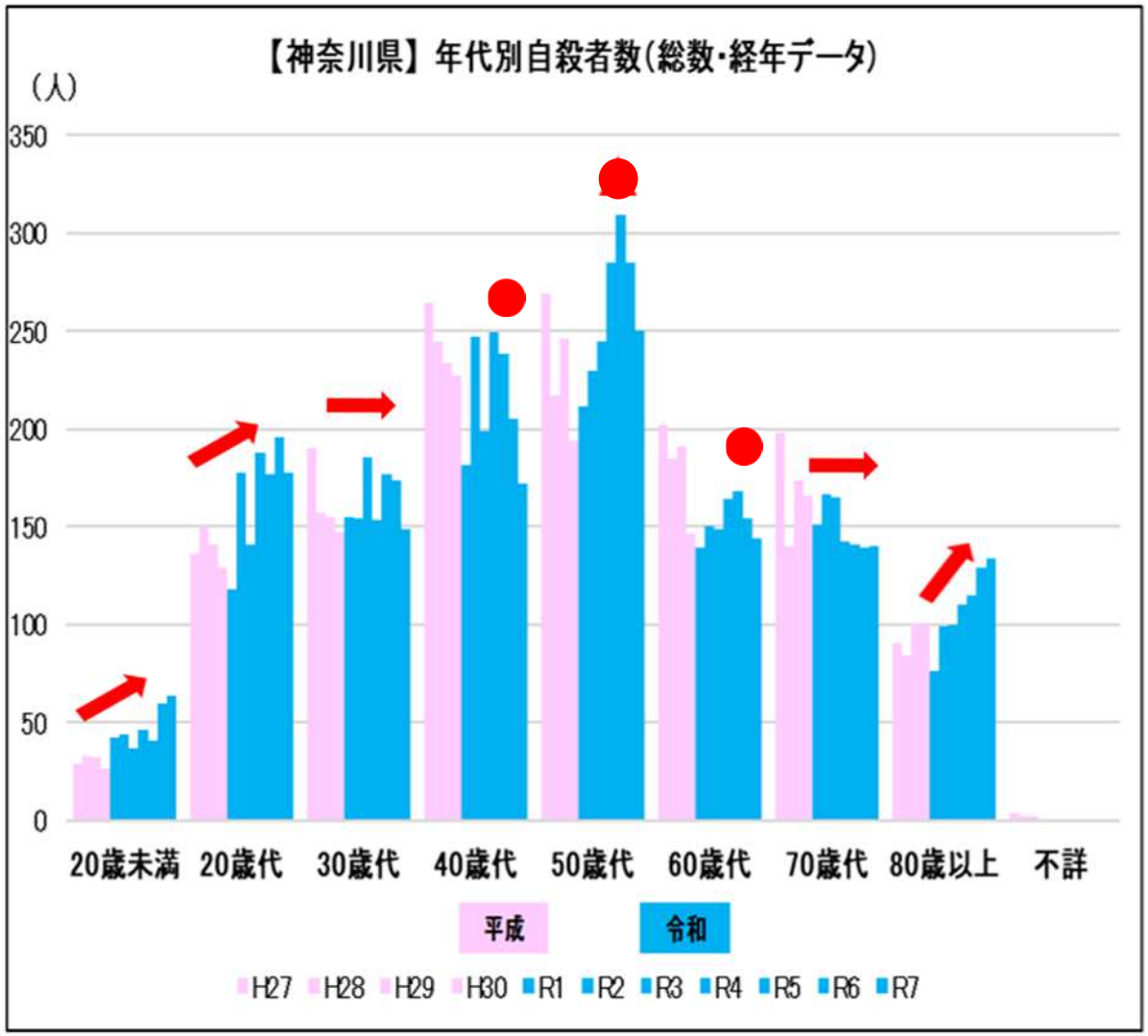
＊女性の50歳代と男性の20歳代は、高止まり

＊20歳未満は、男女ともに増加傾向

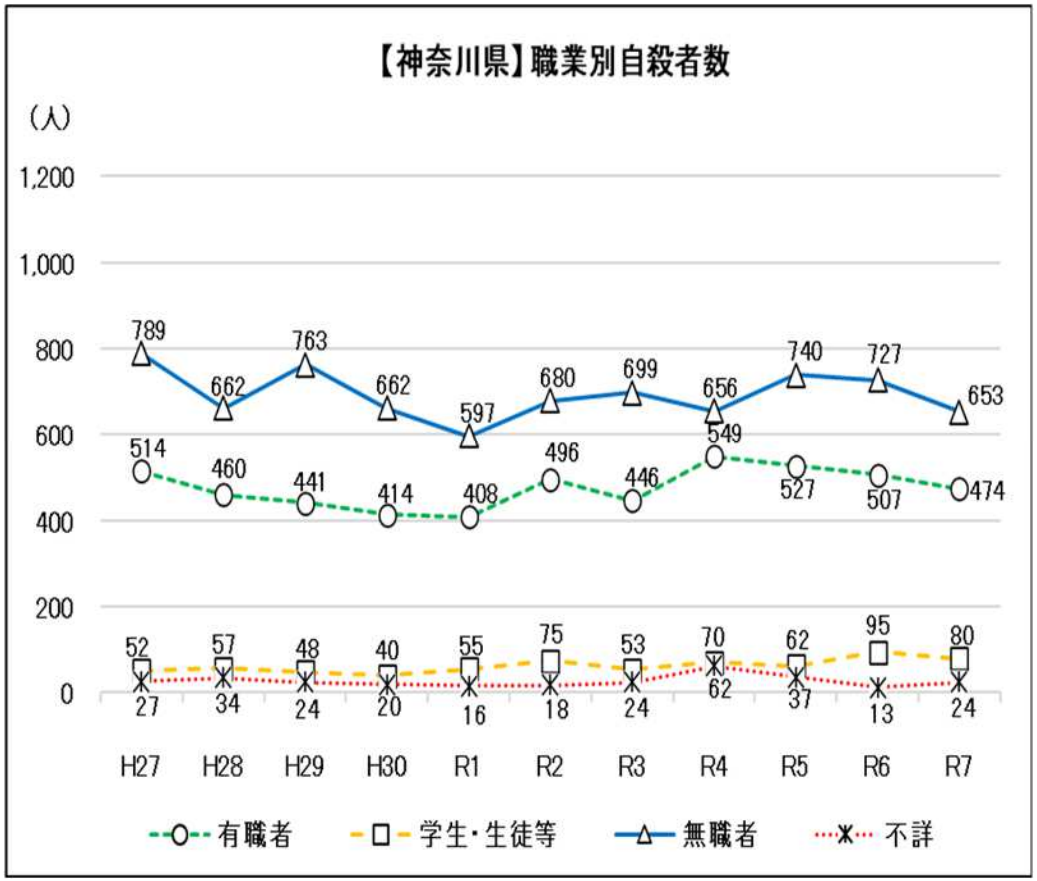
＊ 全国の20歳代以上ではR6年に比べR7年は減少したが、

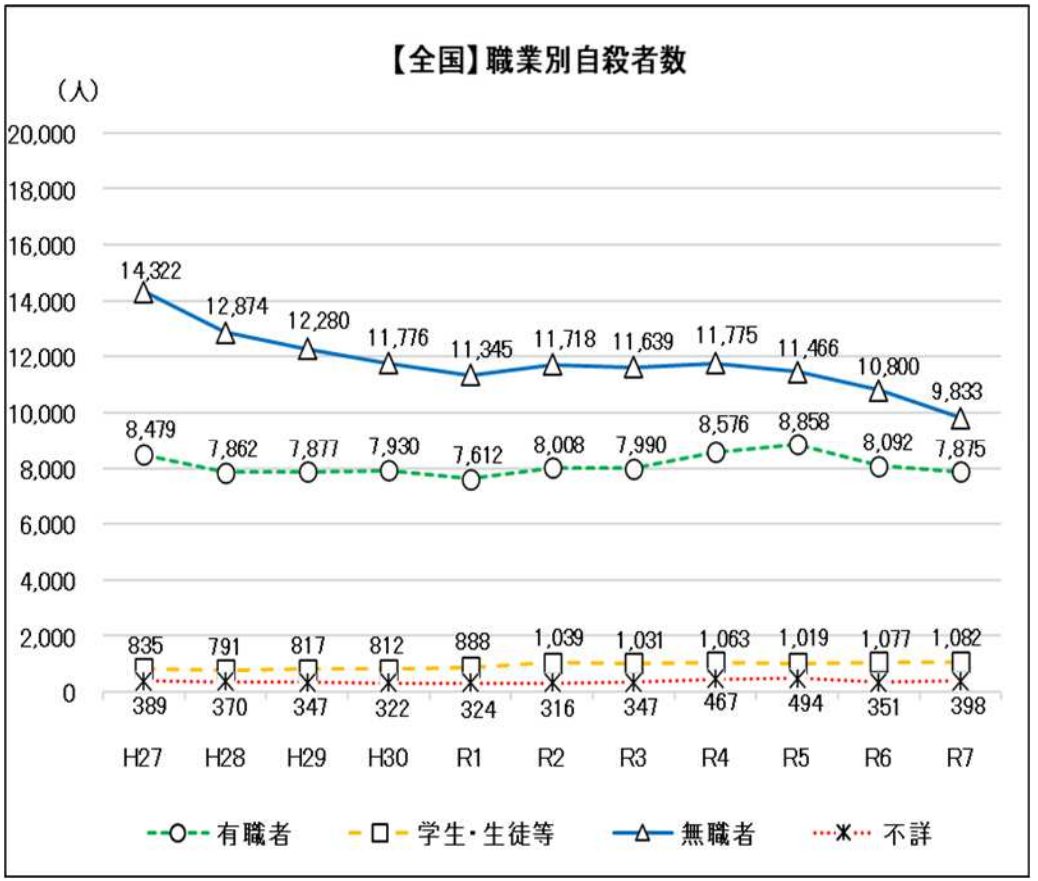
＊本県の女性では50歳代以上の各年代で増加した

＊80歳以上は、男性では令和6年に急増し高止まり、女性では令和6年に比べ令和7年に増加し、総数としては増加傾向にある

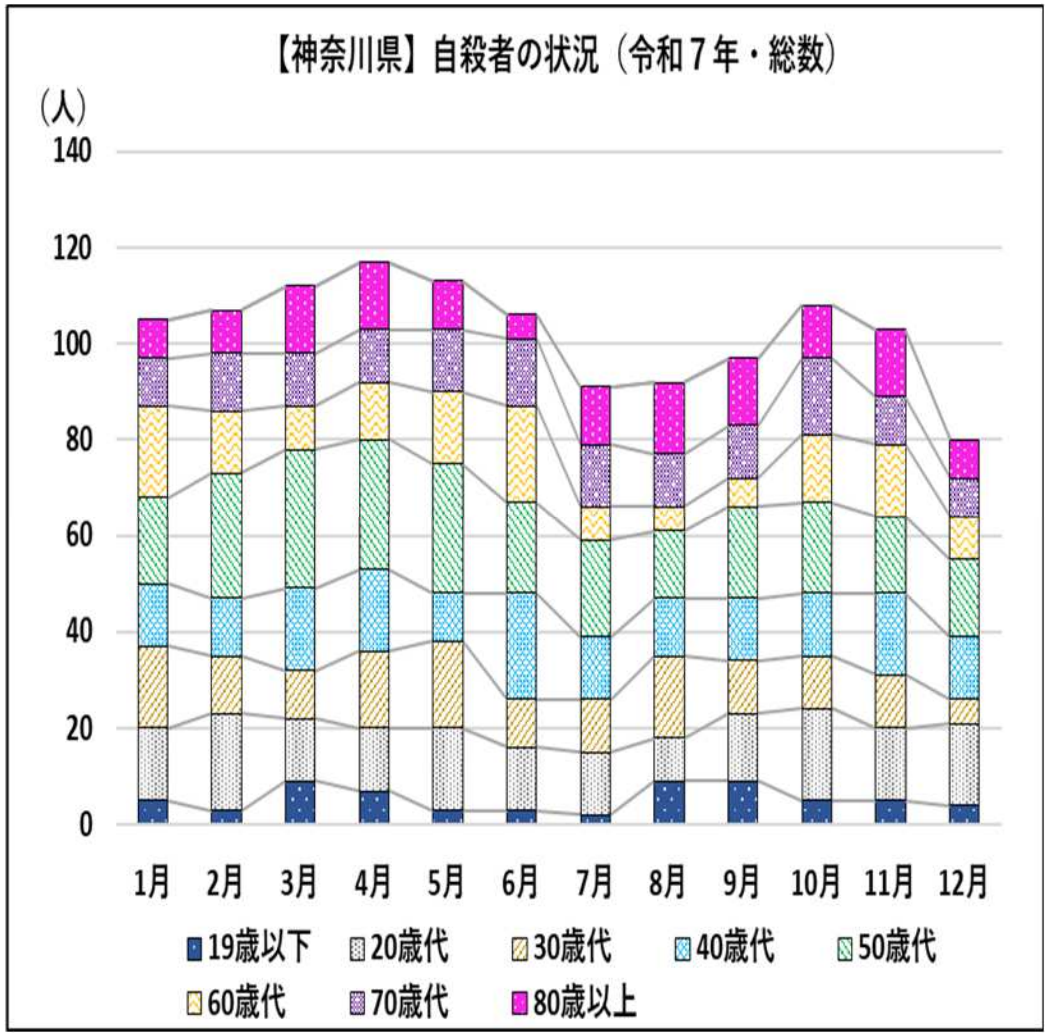


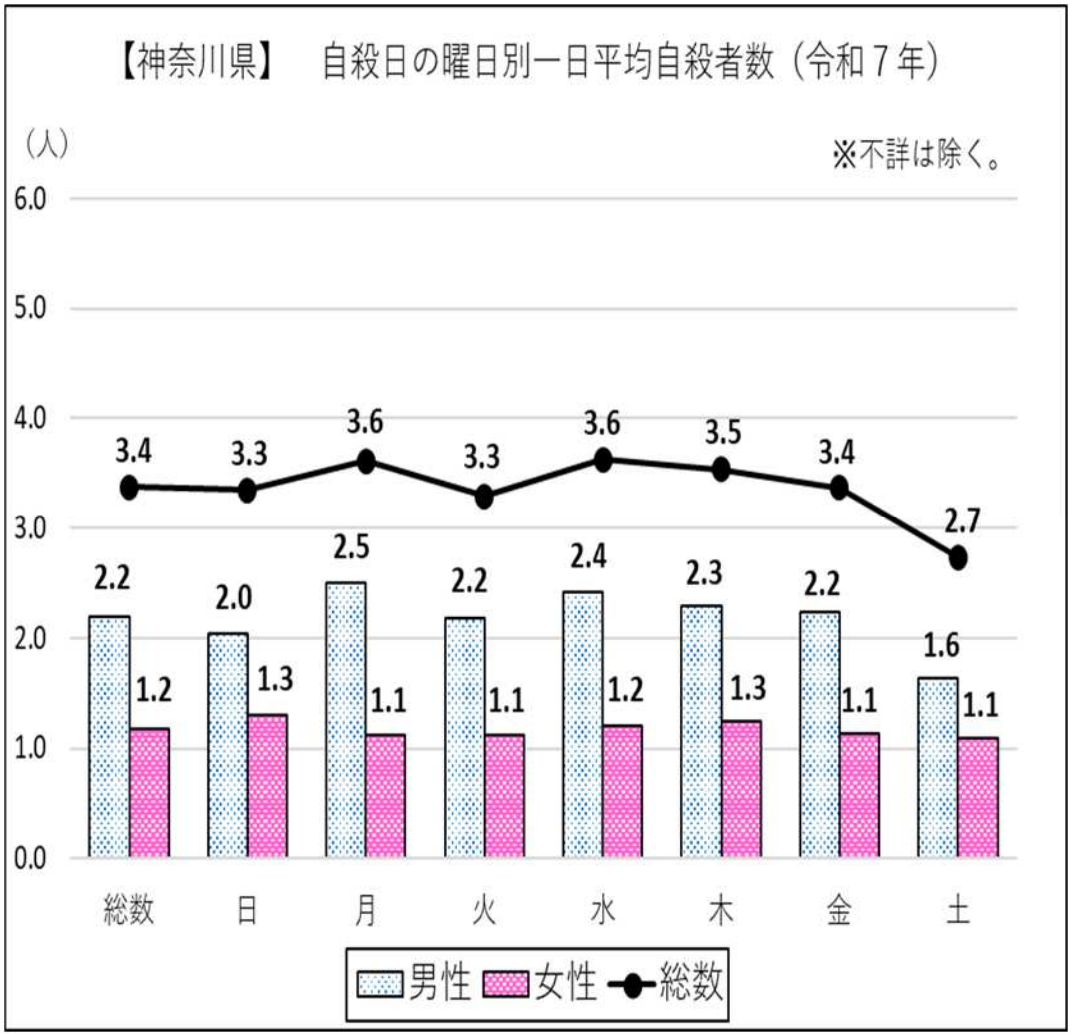
職業別


【神奈川県】職業別自殺者数
（人）
1,200
1,000
800
600
400
200
0
789
662
763
662
597
680
699
656
740
727
653
514
460
441
414
408
496
446
549
527
507
474
52
57
48
40
55
75
53
70
62
95
80
27
34
24
20
16
18
24
62
37
13
24
H27
H28
H29
H30
R1
R2
R3
R4
R5
R6
R7
有職者
学生・生徒等
無職者
不詳


【全国】職業別自殺者数
（人）
20,000
18,000
16,000
14,000
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
14,322
12,874
12,280
11,776
11,345
11,718
11,639
11,775
11,466
10,800
9,833
8,479
7,862
7,877
7,930
7,612
8,008
7,990
8,576
8,858
8,092
7,875
835
791
817
812
888
1,039
1,031
1,063
1,019
1,077
1,082
389
370
347
322
324
316
347
467
494
351
398
H27
H28
H29
H30
R1
R2
R3
R4
R5
R6
R7
有職者
学生・生徒等
無職者
不詳

月別・曜日別（神奈川県、令和7年）


【神奈川県】自殺者の状況（令和７年・総数）
（人）
140
120
100
80
60
40
20
0
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
19歳以下
20歳代
30歳代
40歳代
50歳代
60歳代
70歳代
80歳以上

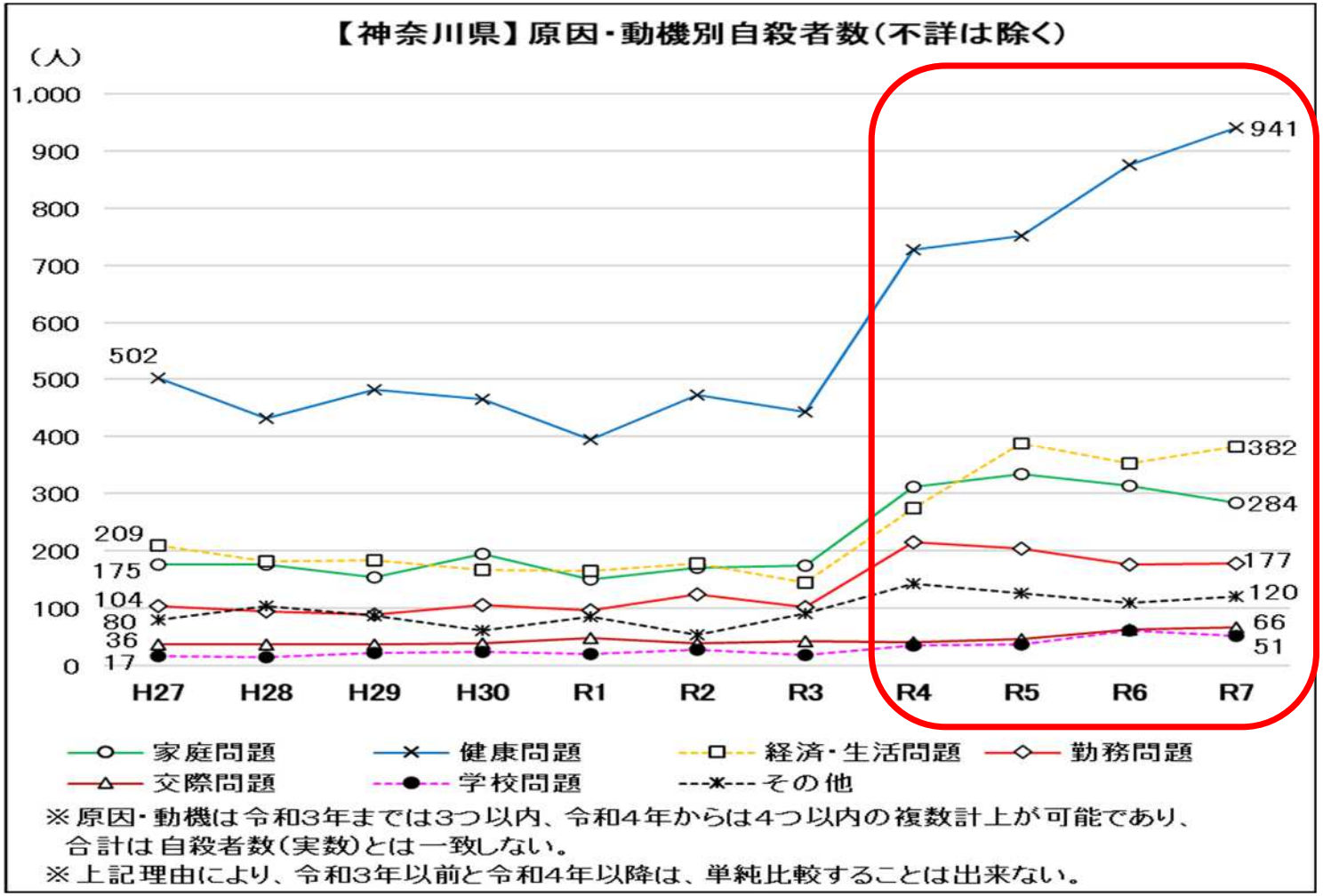

【神奈川県】　自殺日の曜日別一日平均自殺者数（令和７年）
※不詳は除く。
（人）
6.0
5.0
4.0
3.0
2.0
1.0
0.0
3.4
3.3
3.6
3.3
3.6
3.5
3.4
2.7
2.2
1.2
2.0
1.3
2.5
1.1
2.2
1.1
2.4
1.2
2.3
1.3
2.2
1.1
1.6
1.1
総数
日
月
火
水
木
金
土
男性
女性
総数

原因・動機別（神奈川県、令和7年）

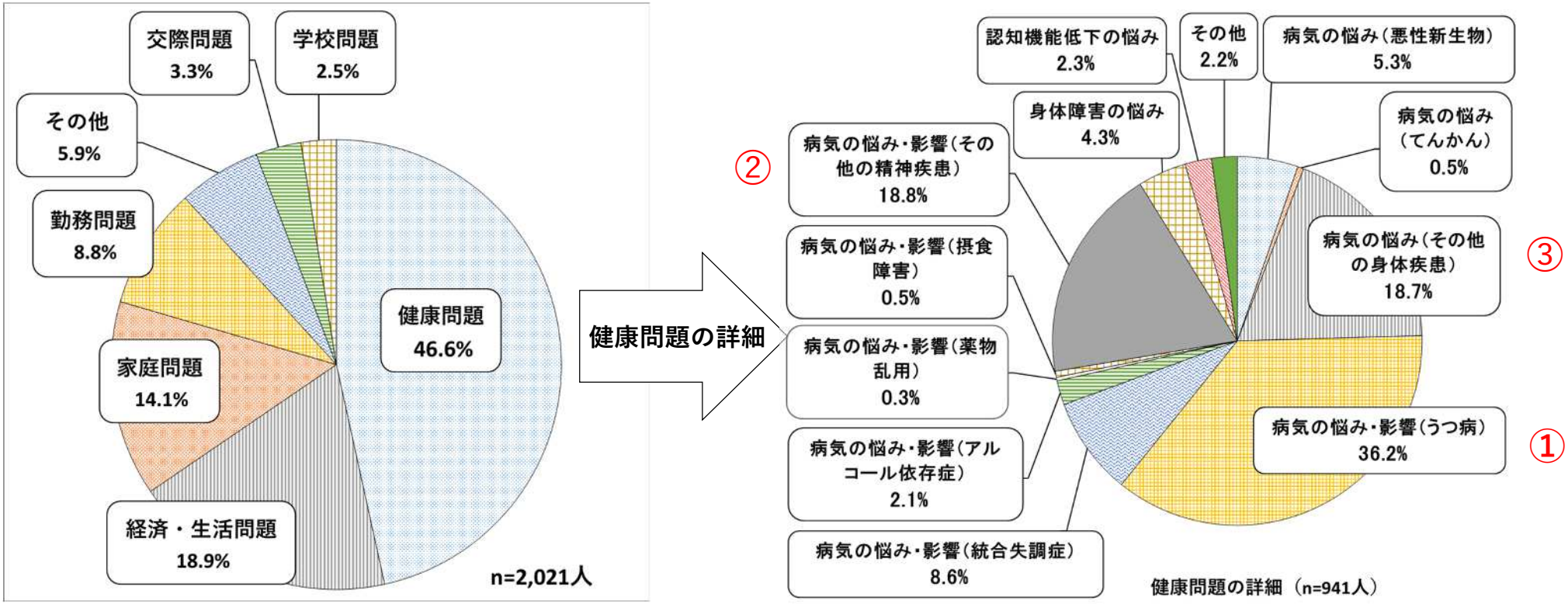
神奈川県
原因動機別の傾向

＊健康問題が多く増加傾向

＊R5年以降は、
経済・生活問題が２番目に多くなり、
家庭問題、
勤務問題が続く

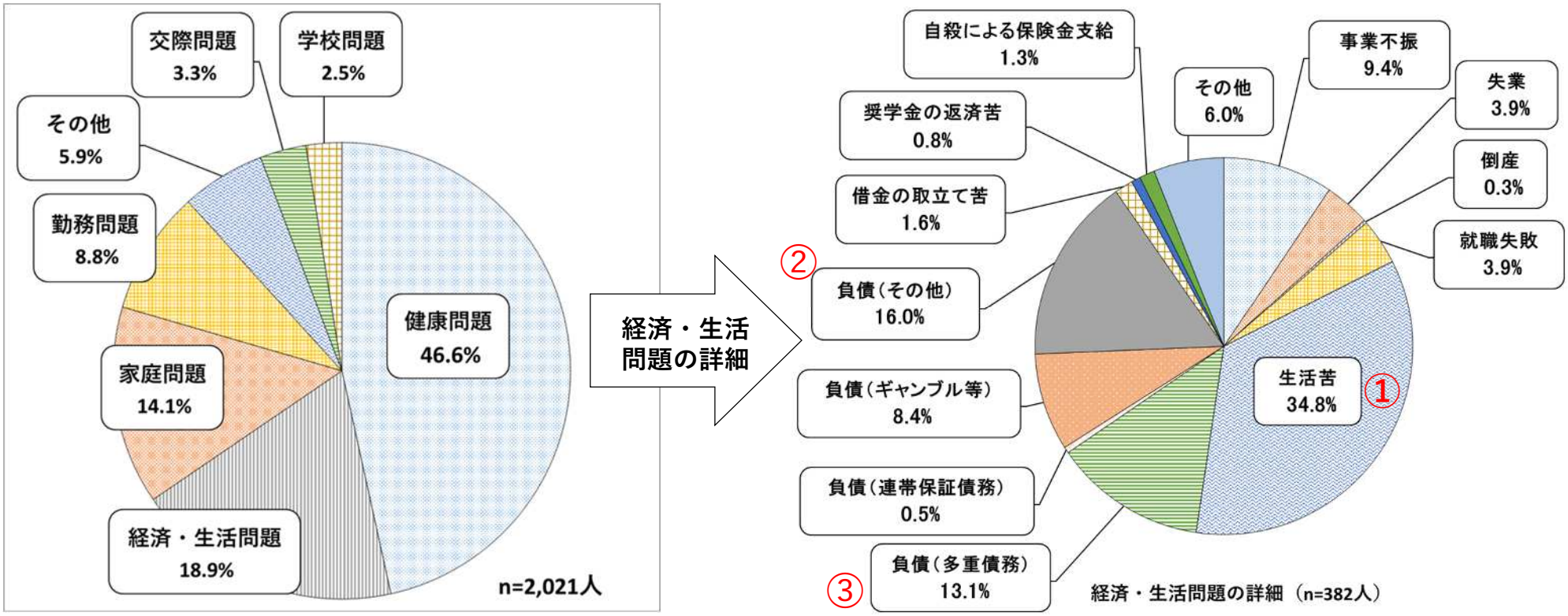


令和７年　神奈川県原因・動機別割合及び健康問題の内訳



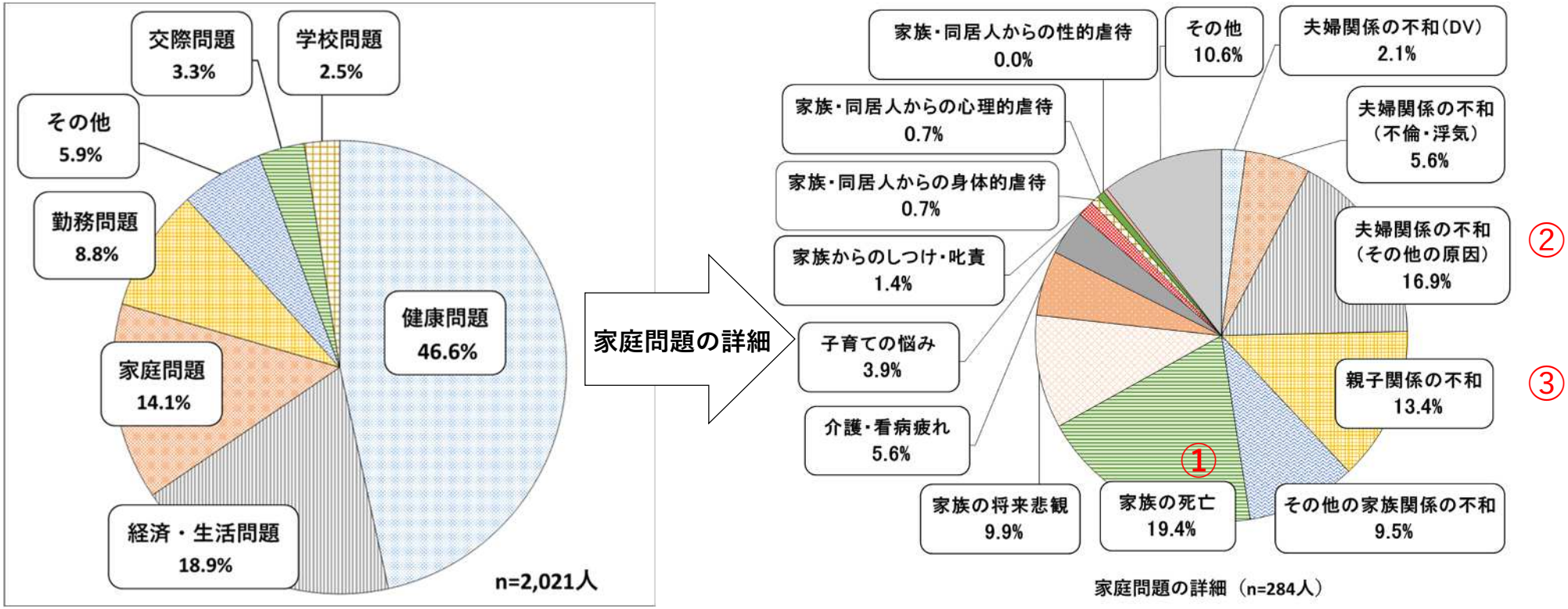
※不詳は除く。
※原因・動機は４つ以内の複数計上が可能となっている。
※令和７年の自殺者数（1,231人）と原因・動機別の総和（2,021人）とは一致しない。
※各グラフの構成割合の母数は、自殺者実数ではなく複数回答の和（ｎ）としている。

令和７年　神奈川県原因・動機別割合及び経済・生活問題の内訳



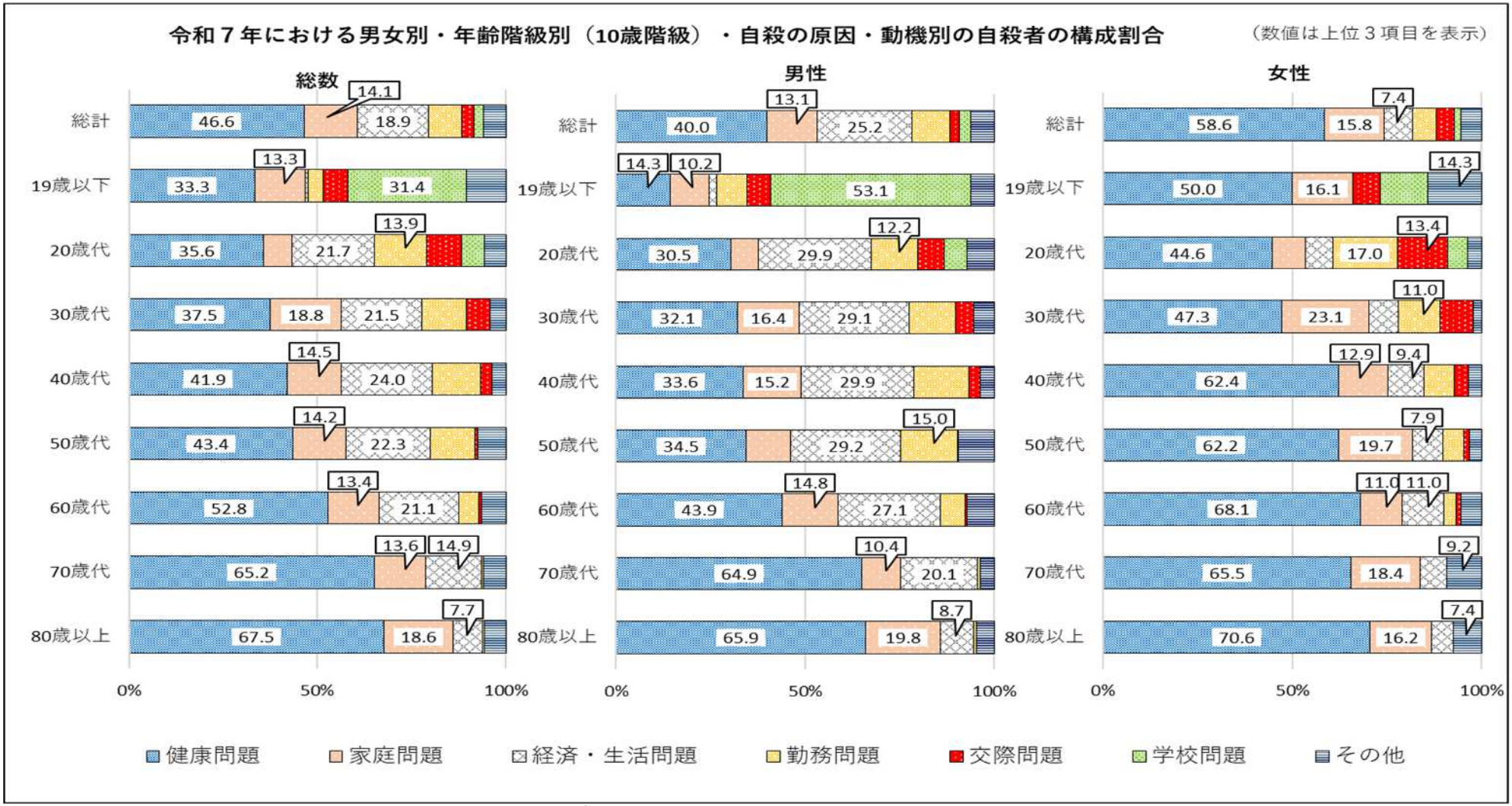
※不詳は除く。
※原因・動機は４つ以内の複数計上が可能となっている。
※令和７年の自殺者数（1,231人）と原因・動機別の総和（2,021人）とは一致しない。
※各グラフの構成割合の母数は、自殺者実数ではなく複数回答の和（ｎ）としている。

令和７年　神奈川県原因・動機別割合及び家庭問題の内訳



※不詳は除く。
※原因・動機は４つ以内の複数計上が可能となっている。
※令和７年の自殺者数（1,231人）と原因・動機別の総和（2,021人）とは一致しない。
※各グラフの構成割合の母数は、自殺者実数ではなく複数回答の和（ｎ）としている。

男性　802人、女性429人



年齢の上昇につれて健康問題が多くなる
男性は、経済・生活問題、学校問題が多いのに比べ、女性は家庭問題、交際問題が多い

男性　802人、女性429人

神奈川県
原因動機別のまとめ

＊健康問題、経済・生活問題、家庭問題の順に多い

＊健康問題は、年齢の上昇につれて多くなる

＊男性は、経済・生活問題、学校問題の順に多い

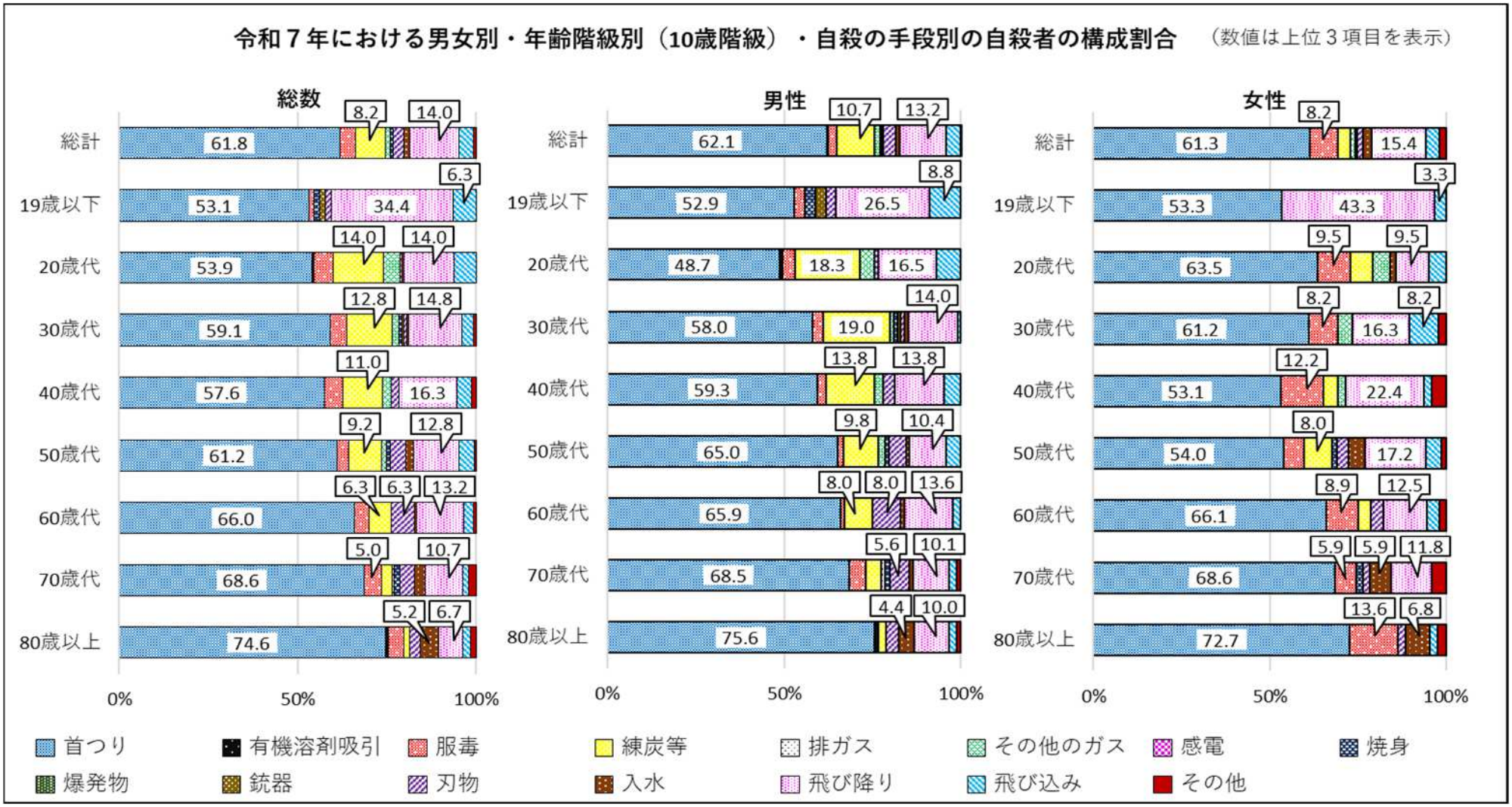
＊女性は家庭問題、交際問題の順に多い。

＊男女合わせた総数において、健康問題ではうつ病が、経済・生活問題では生活苦が、家庭問題では家族の死亡が最も多かった

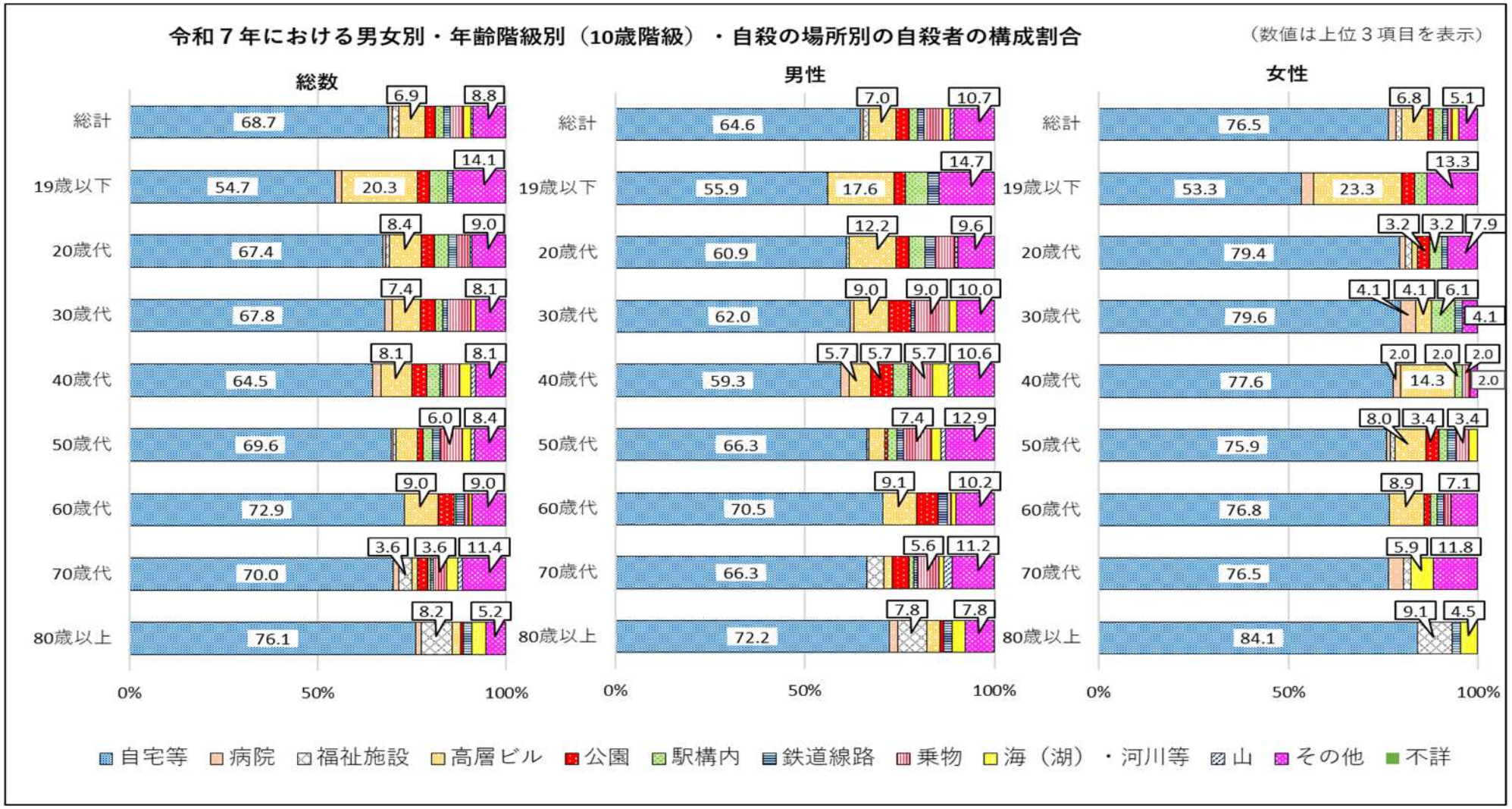
	総数	男性	女性
1	健康問題	健康問題	健康問題
2	経済・生活問題	経済・生活問題	家庭問題
3	家庭問題	家庭問題	経済・生活問題

	健康問題	経済・生活問題	家庭問題
1	病気の悩み・影響 （うつ病）	生活苦	家族の死亡
2	病気の悩み・影響 （その他の精神疾患）	負債 （その他）	夫婦関係の不和 （その他の原因）
3	病気の悩み （その他の身体疾患）	負債 （多重債務）	親子関係の不和

手段・場所（神奈川県、令和7年）



首つり、飛び降りの順に多いが、男性では練炭等、女性では服毒が続く。19歳以下は飛び込みも多い。



自宅、その他、高層ビルの順に多い。19歳以下は駅構内、80歳以上は福祉施設も上位にくる。

自殺未遂歴の有無（神奈川県、令和7年）

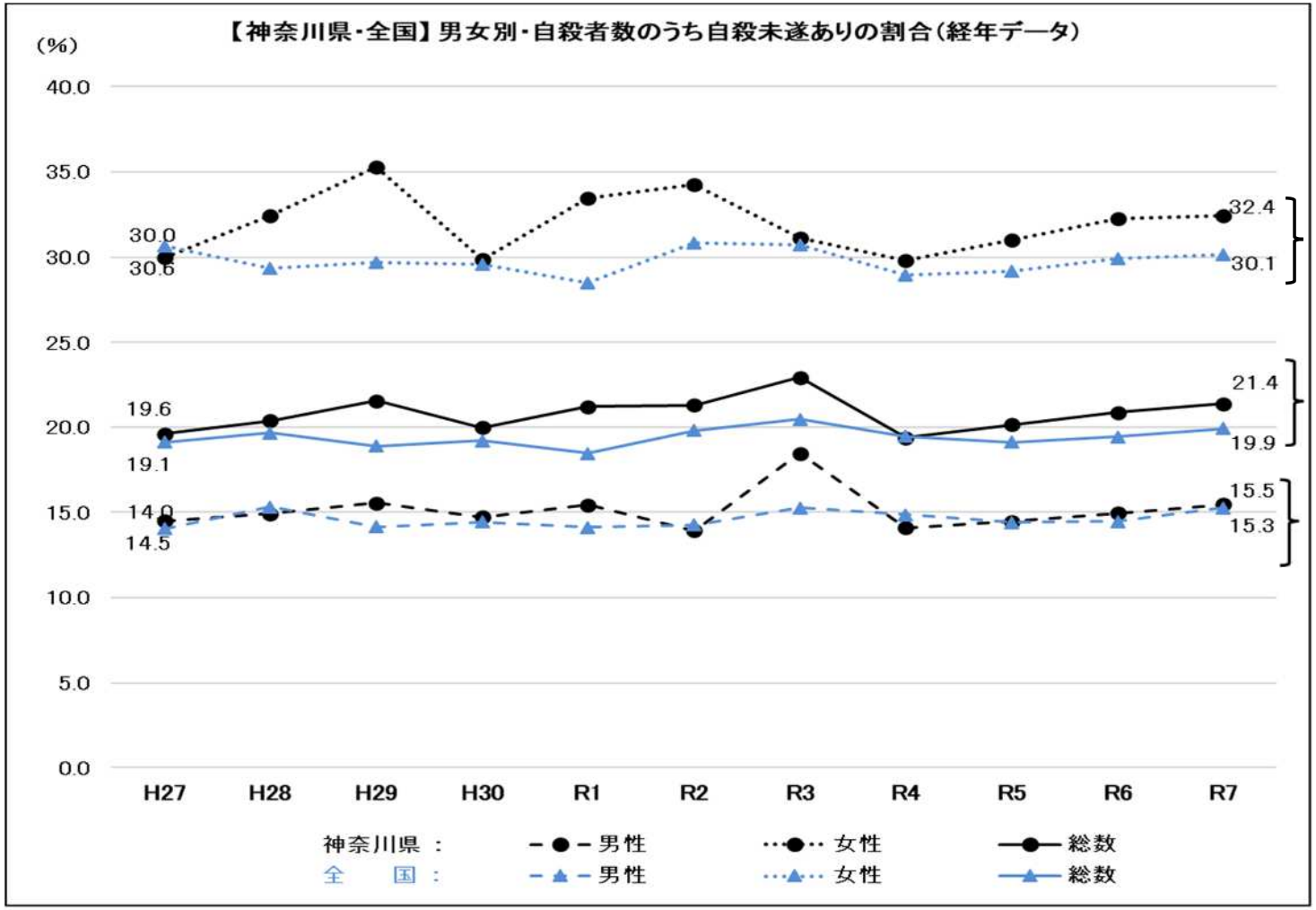
神奈川県
自殺未遂歴の有無

＊女性は、男性の2倍

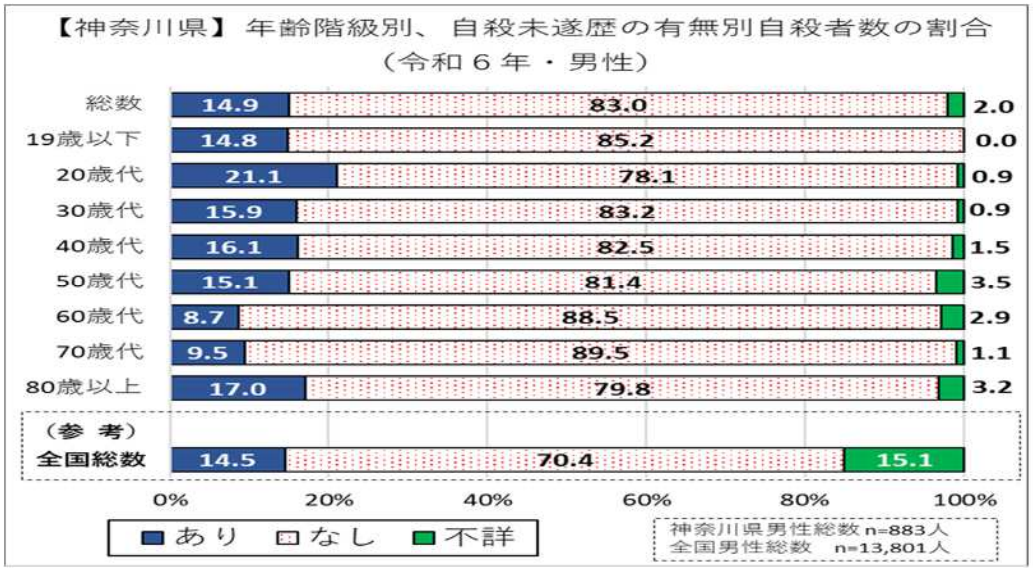
＊本県の男性は全国と同等の割合

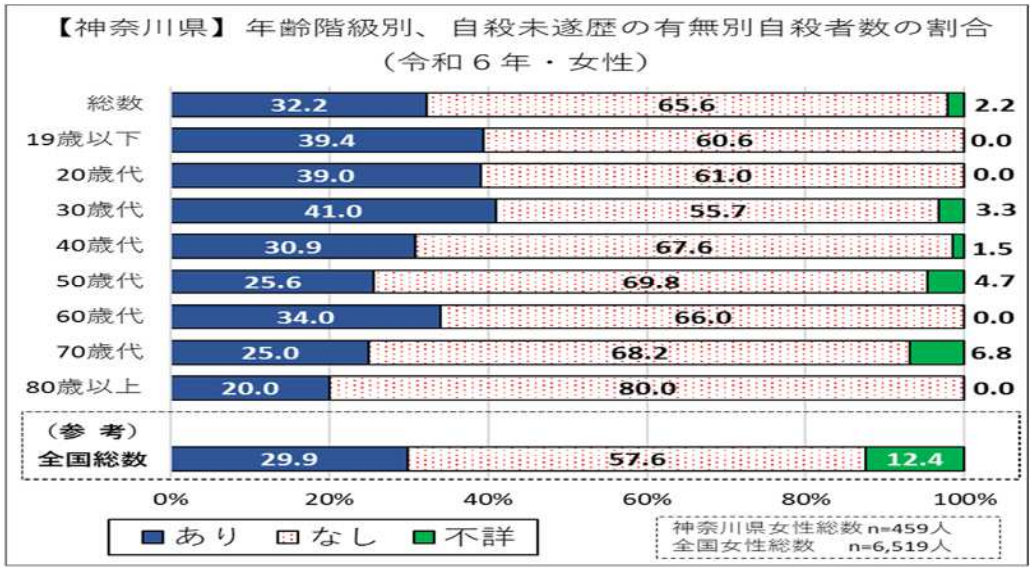
＊本県の女性は、全国に比べ多い傾向

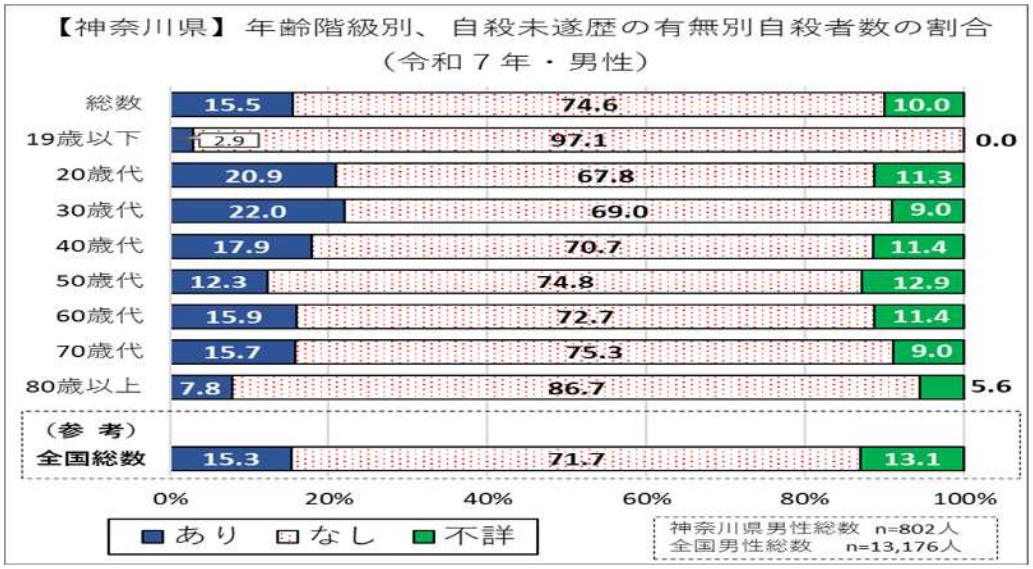
＊19歳以下女性で、未遂歴のある自殺者の割合が大きくなっている

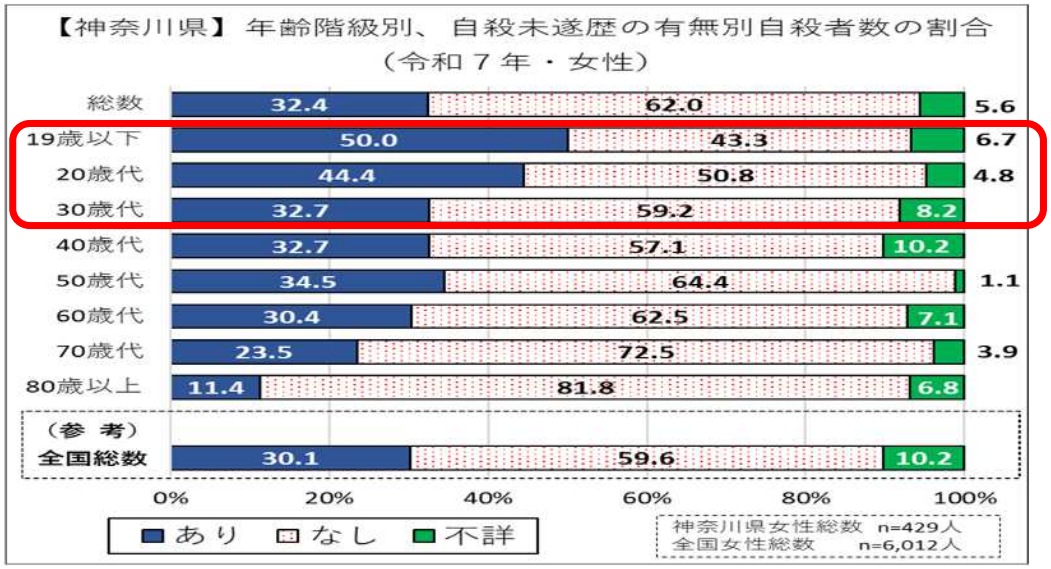


総数（人）n：年[神奈川県/全国]
H27 [1,382/24,025] H28 [1,213/21,897] H29 [1,276/21,321] H30 [1,136/20,840] R 1 [1,076/20,169]
R 2 [1,269/21,081] R 3 [1,222/21,007] R 4 [1,337/21,881] R 5 [1,366/21,837] R 6 [1,342/20,320]
R 7 [1,231/19,188]


【神奈川県】 年齢階級別、 自殺未遂歴の有無別自殺者数の割合
（令和６年・男性）
総数 14.9 83.0 2.0
19歳以下 14.8 85.2 0.0
20歳代 21.1 78.1 0.9
30歳代 15.9 83.2 0.9
40歳代 16.1 82.5 1.5
50歳代 15.1 81.4 3.5
60歳代 8.7 88.5 2.9
70歳代 9.5 89.5 1.1
80歳以上 17.0 79.8 3.2
（参考）
全国総数 14.5 70.4 15.1
0% 20% 40% 60% 80% 100%
あり なし 不詳
神奈川県男性総数 n=883人
全国男性総数 n=13,801人


【神奈川県】 年齢階級別、 自殺未遂歴の有無別自殺者数の割合
（令和６年・女性）
総数 32.2 65.6 2.2
19歳以下 39.4 60.6 0.0
20歳代 39.0 61.0 0.0
30歳代 41.0 55.7 3.3
40歳代 30.9 67.6 1.5
50歳代 25.6 69.8 4.7
60歳代 34.0 66.0 0.0
70歳代 25.0 68.2 6.8
80歳以上 20.0 80.0 0.0
（参考）
全国総数 29.9 57.6 12.4
0% 20% 40% 60% 80% 100%
あり なし 不詳
神奈川県女性総数 n=459人
全国女性総数 n=6,519人


【神奈川県】 年齢階級別、 自殺未遂歴の有無別自殺者数の割合
（令和７年・男性）
総数 15.5 74.6 10.0
19歳以下 2.9 97.1 0.0
20歳代 20.9 67.8 11.3
30歳代 22.0 69.0 9.0
40歳代 17.9 70.7 11.4
50歳代 12.3 74.8 12.9
60歳代 15.9 72.7 11.4
70歳代 15.7 75.3 9.0
80歳以上 7.8 86.7 5.6
（参考）
全国総数 15.3 71.7 13.1
0% 20% 40% 60% 80% 100%
あり なし 不詳
神奈川県男性総数 n=802人
全国男性総数 n=13,176人


【神奈川県】 年齢階級別、 自殺未遂歴の有無別自殺者数の割合
（令和７年・女性）
総数 32.4 62.0 5.6
19歳以下 50.0 43.3 6.7
20歳代 44.4 50.8 4.8
30歳代 32.7 59.2 8.2
40歳代 32.7 57.1 10.2
50歳代 34.5 64.4 1.1
60歳代 30.4 62.5 7.1
70歳代 23.5 72.5 3.9
80歳以上 11.4 81.8 6.8
（参考）
全国総数 30.1 59.6 10.2
0% 20% 40% 60% 80% 100%
あり なし 不詳
神奈川県女性総数 n=429人
全国女性総数 n=6,012人

子ども・若者

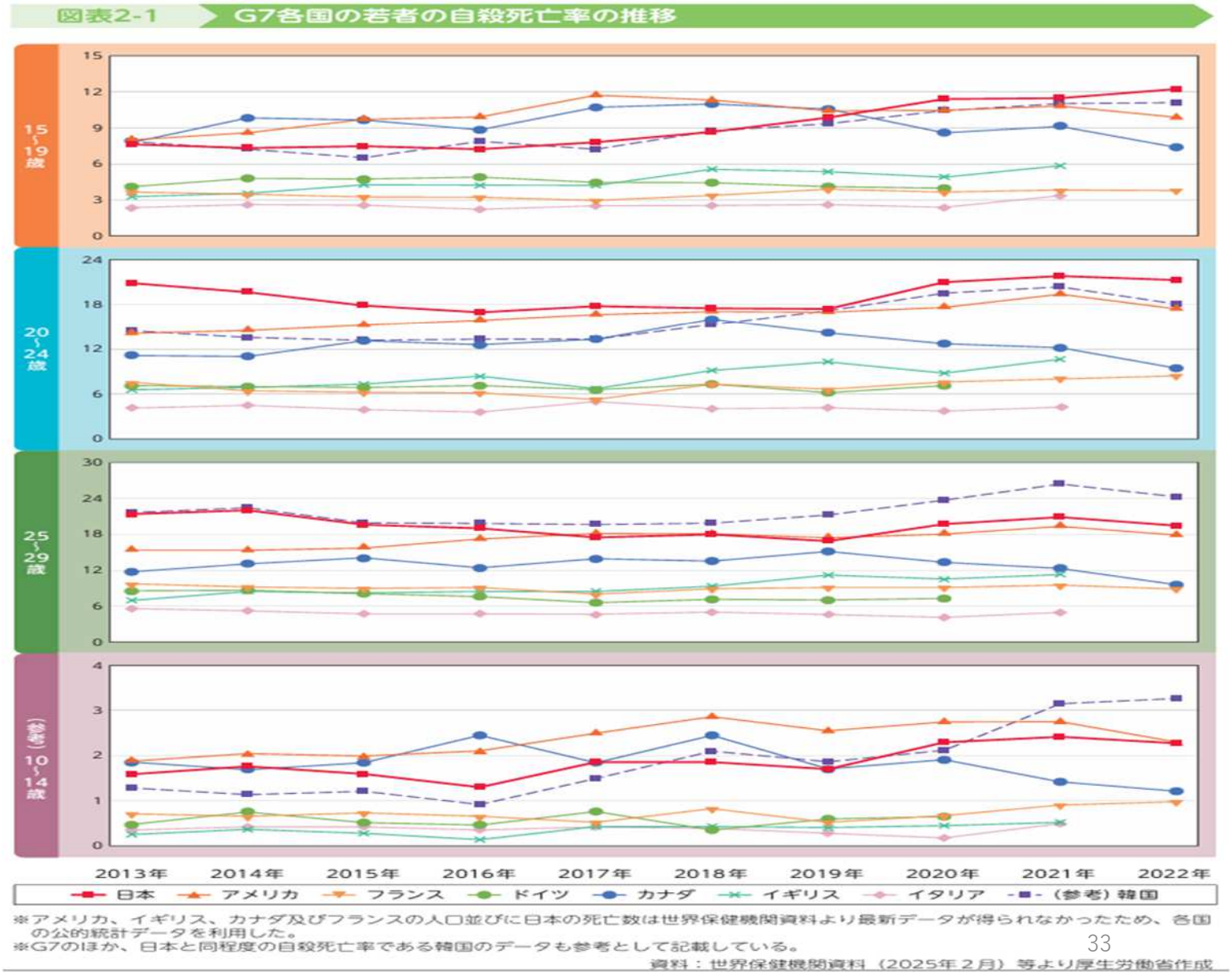
G7各国の若者の自殺死亡率の推移

＊15～19歳において、日本は2017（平成29）年以降増加傾向にあり、2020年以降最も多い国となった。

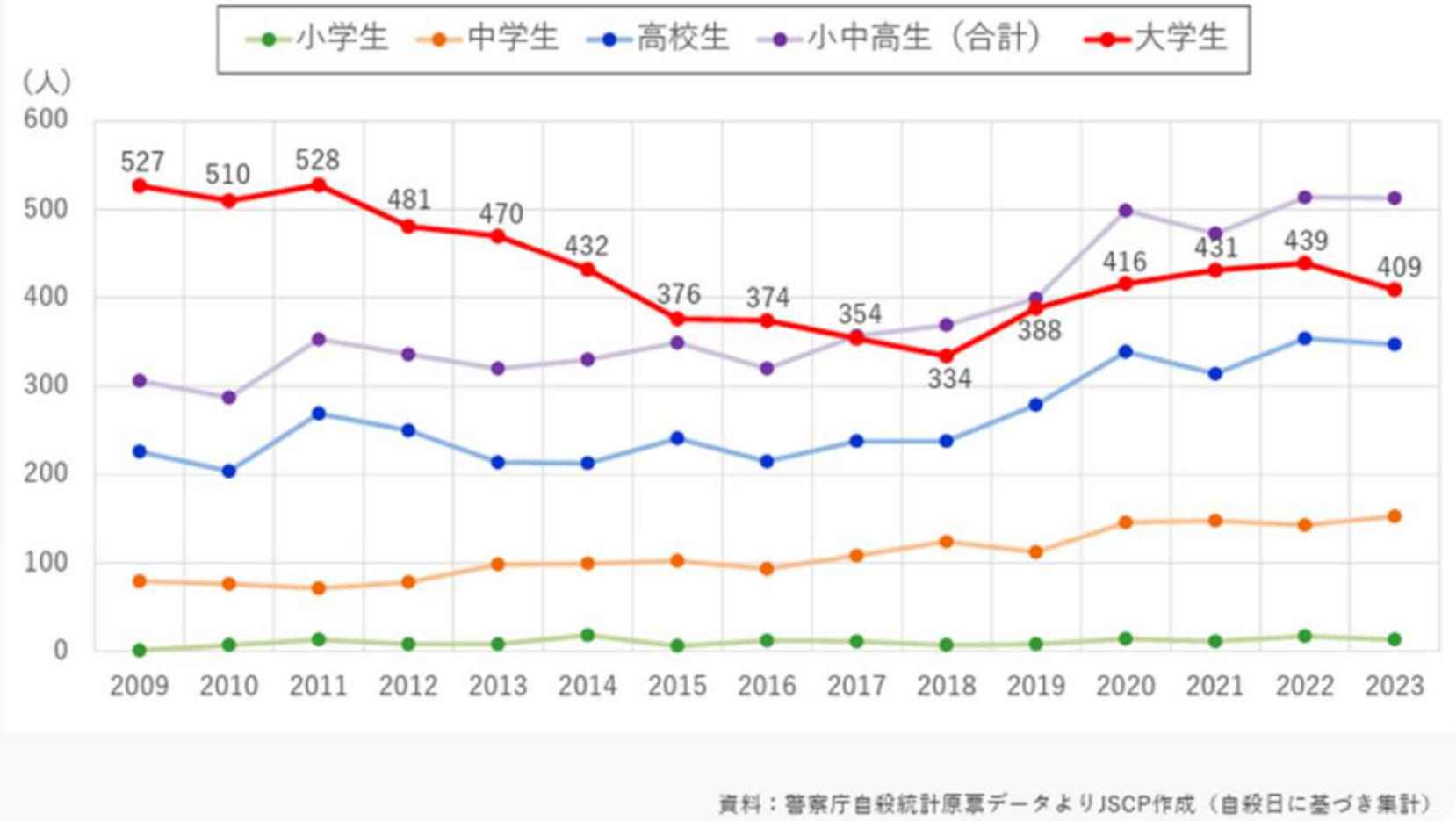
＊20～24歳において、日本は常に最も多い

＊25～29歳においても、日本は常に最も多い
（韓国は参考値）

＊10～14歳において、日本は常に上位にいる（参考）



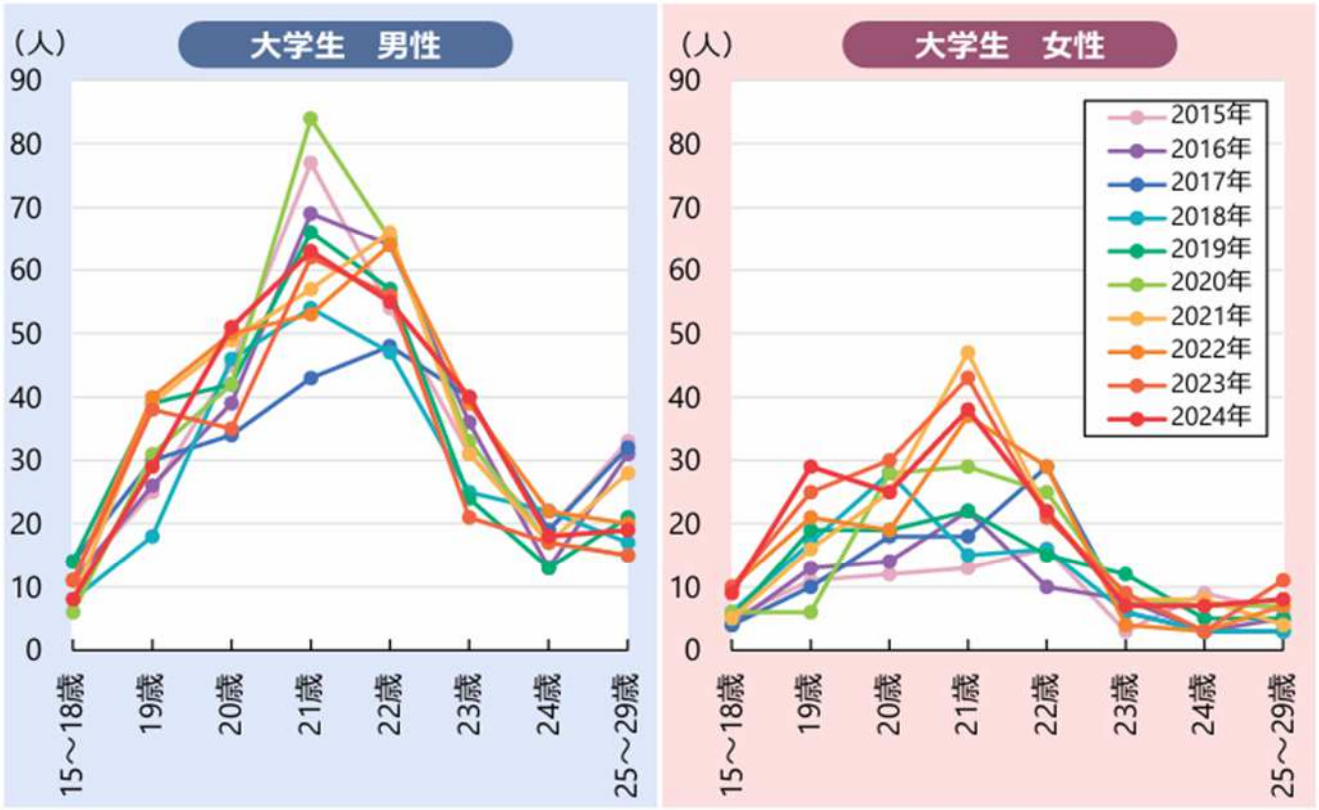
【全国】小中高大学生における自殺者数の年次推移



JSCPのHPより

【全国】大学生における自殺者の状況

性別、年別にみた大学生の各歳別自殺者数の推移

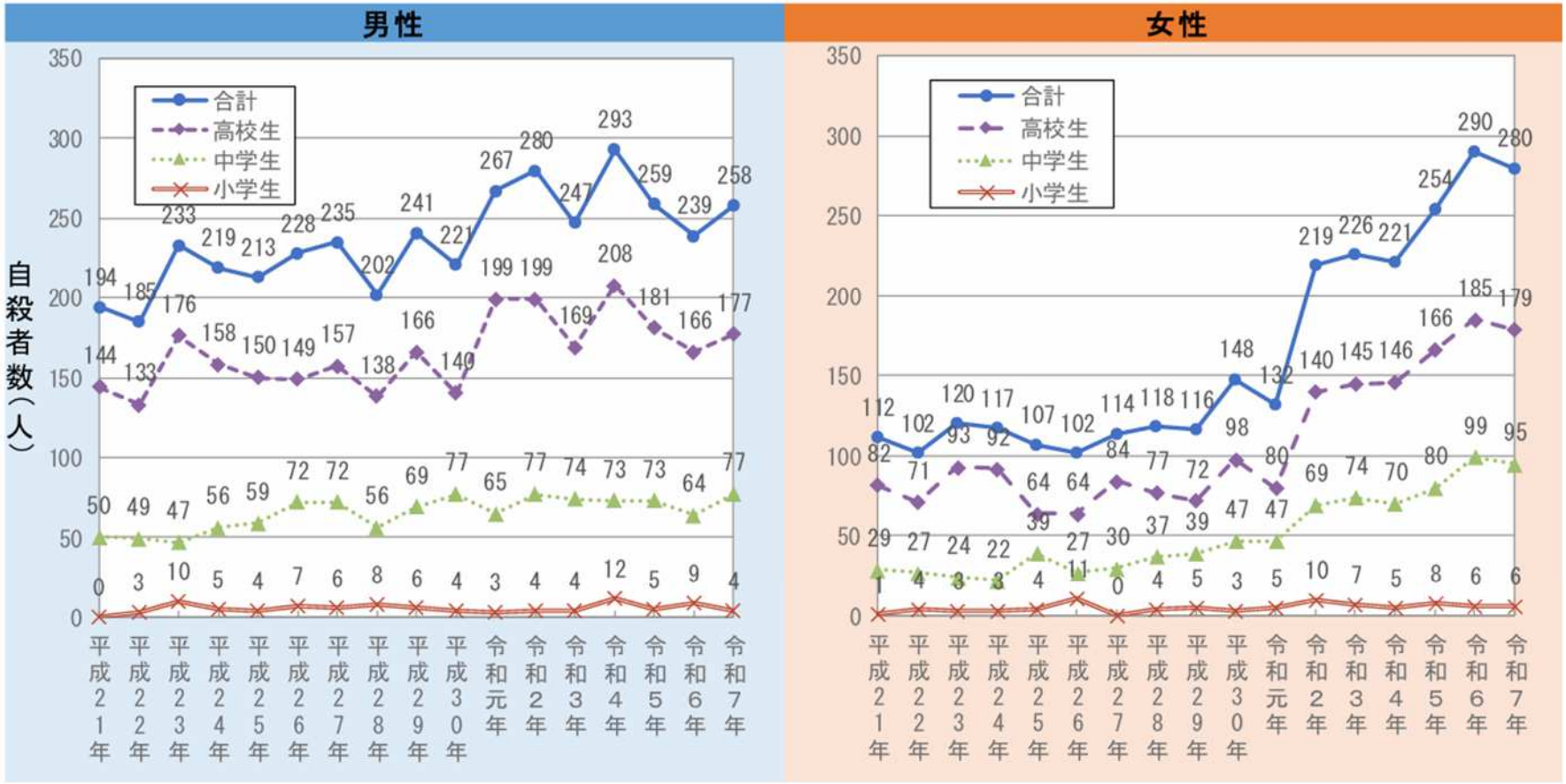


性別にみた21歳大学生の自殺の原因・動機（詳細項目）の割合上位10位（2022～2024年）

21歳大学生　男性（n=178）		21歳大学生　女性（n=118）	
進路に関する悩み（入試以外）	24.2%	進路に関する悩み（入試以外）	19.5%
学業不振	19.7%	病気の悩み・影響（うつ病）	16.9%
病気の悩み・影響（うつ病）	12.9%	病気の悩み・影響（その他の精神疾患）	15.3%
病気の悩み・影響（その他の精神疾患）	9.6%	学業不振	8.5%
失恋	8.4%	失恋	7.6%
学友との不和（いじめ以外）	7.9%	その他（学校問題）	5.9%
その他（学校問題）	5.1%	学友との不和（いじめ以外）	5.1%
就職失敗	4.5%	その他	5.1%
その他	3.9%	就職失敗	4.2%
その他（経済・生活問題）	3.4%	病気の悩み（その他の身体疾患）	3.4%

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成　7

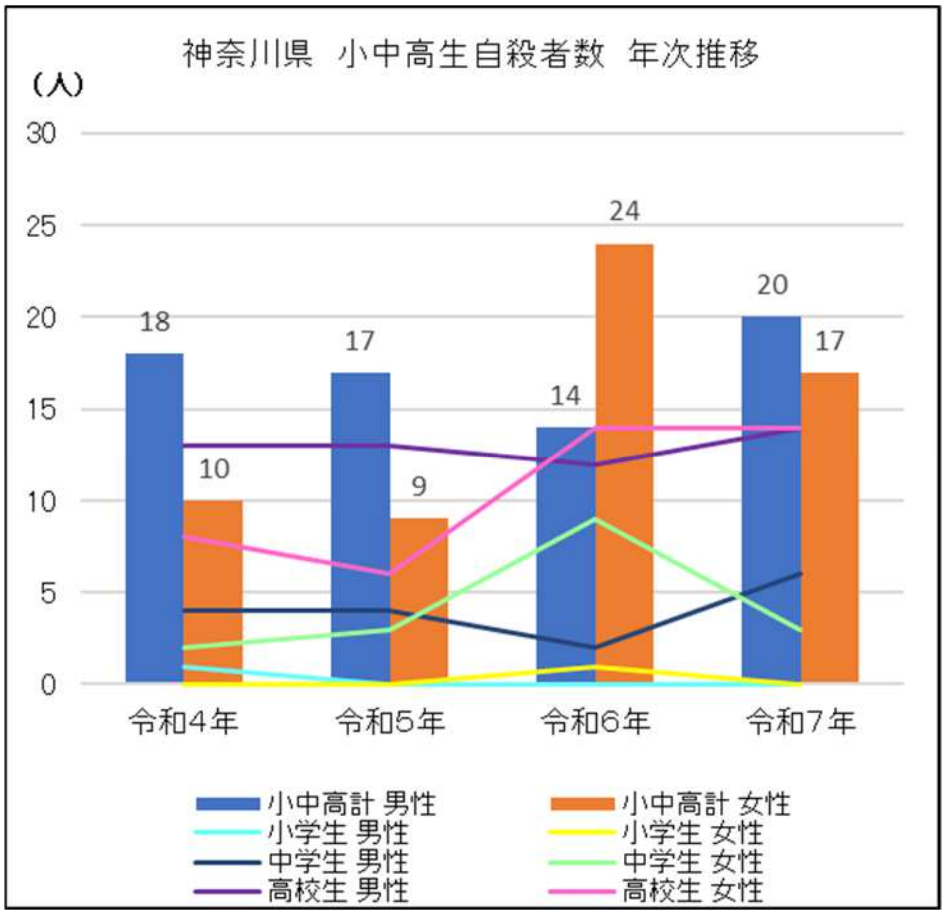
【全国】小中高生男女別の年次推移

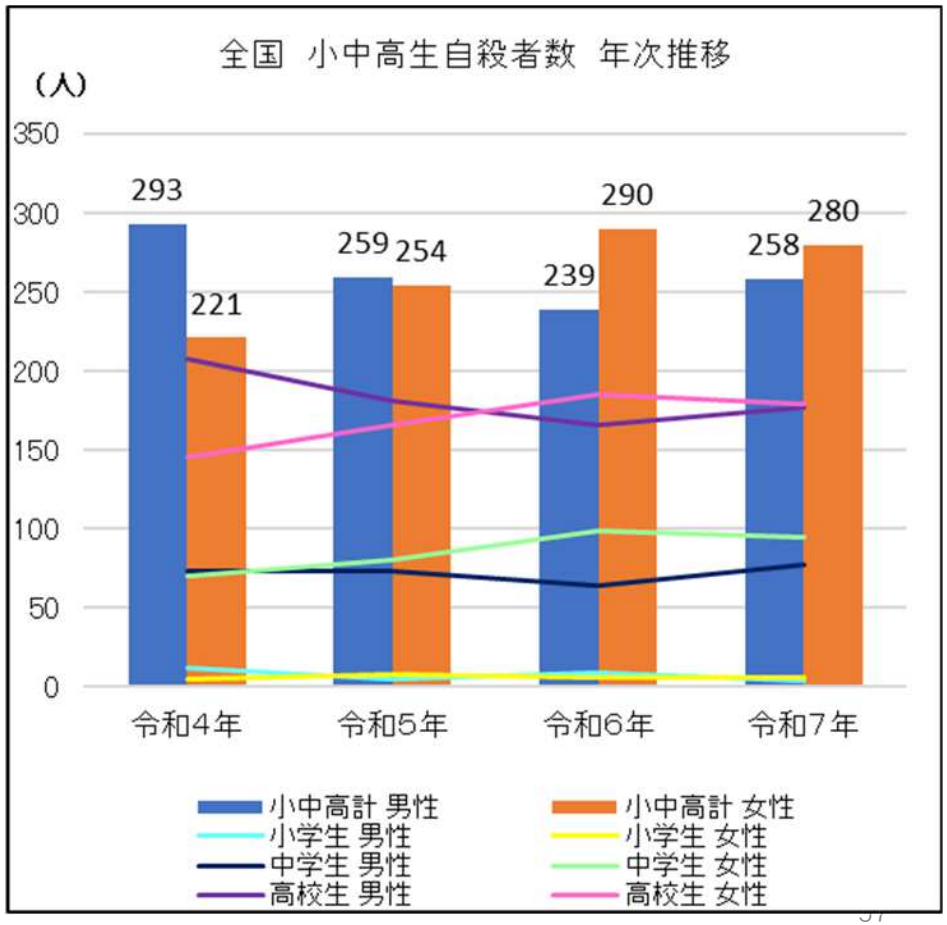


資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省自殺対策推進室作成

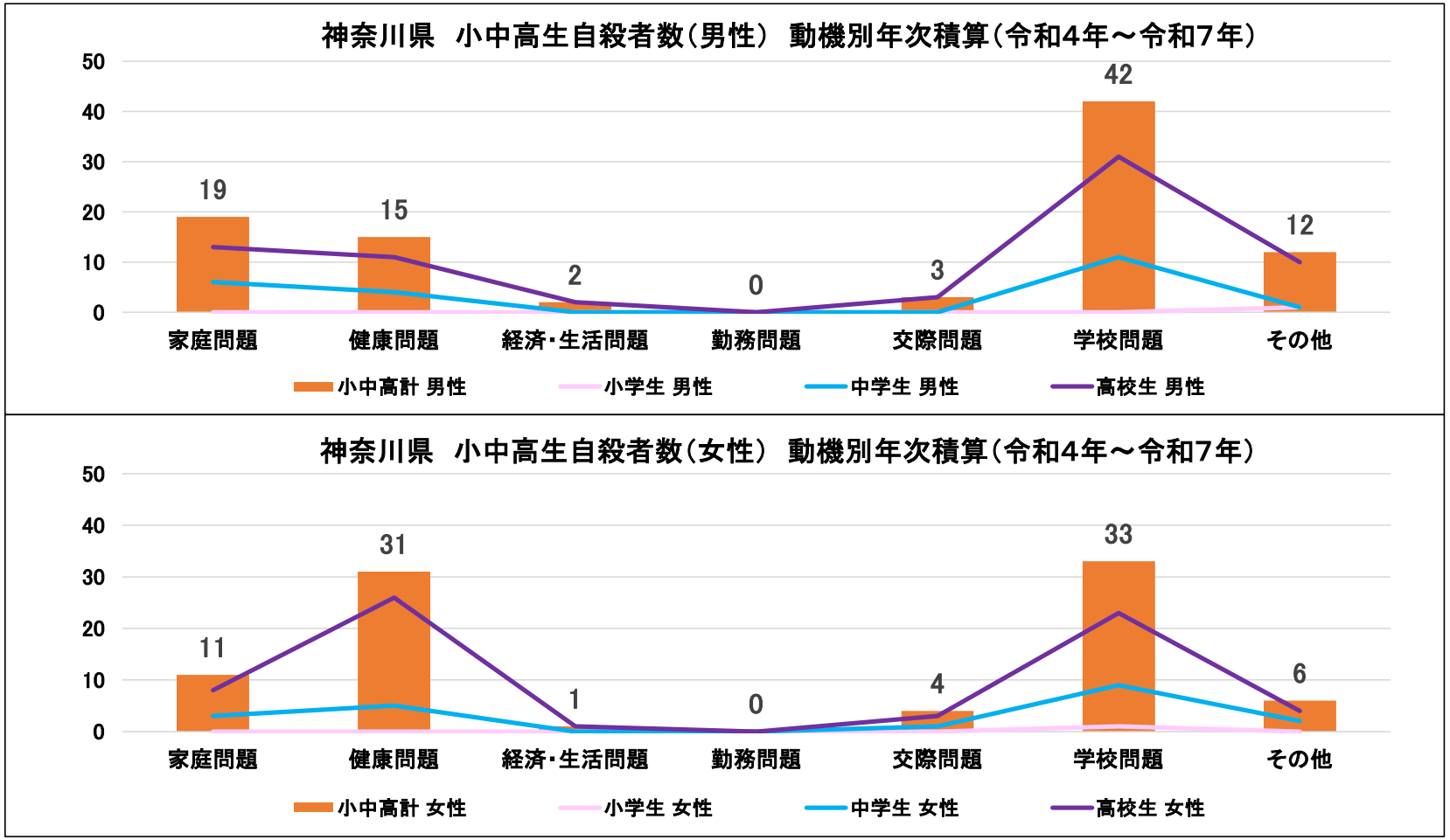
令和8年3月27日現在

小中高生自殺者数年次推移(令和4年～令和7年)

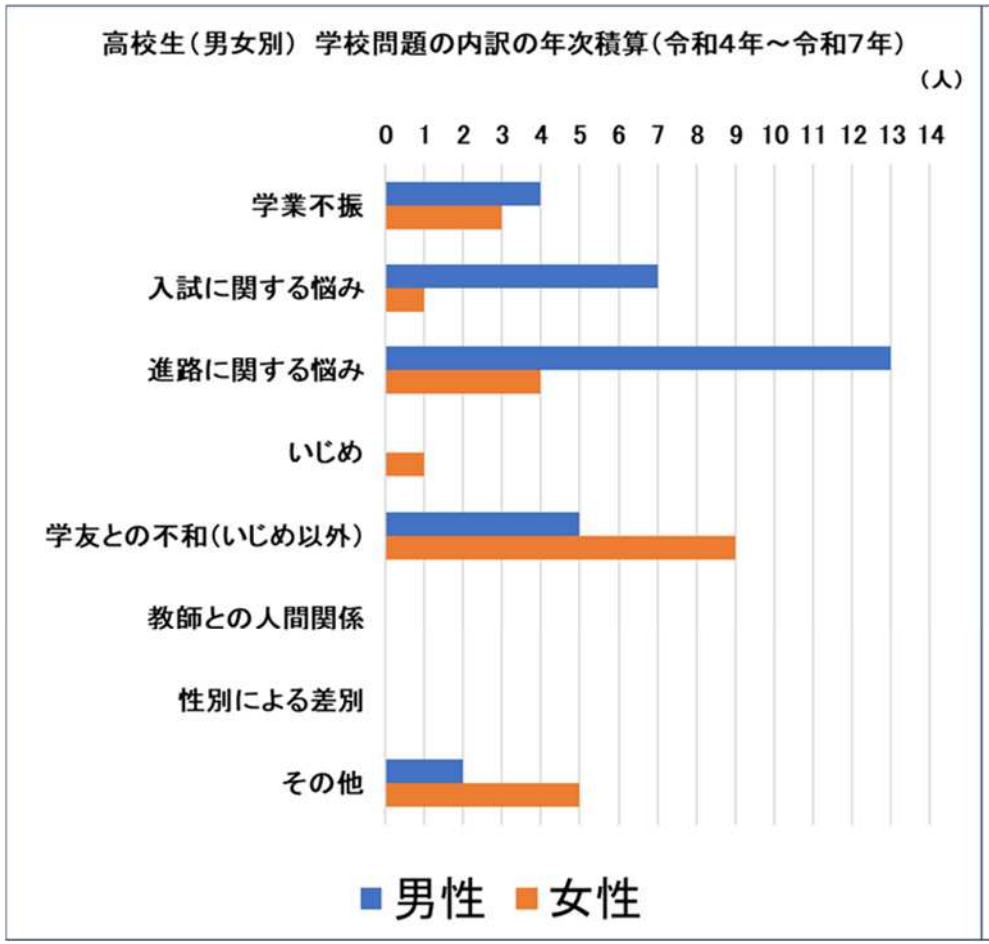


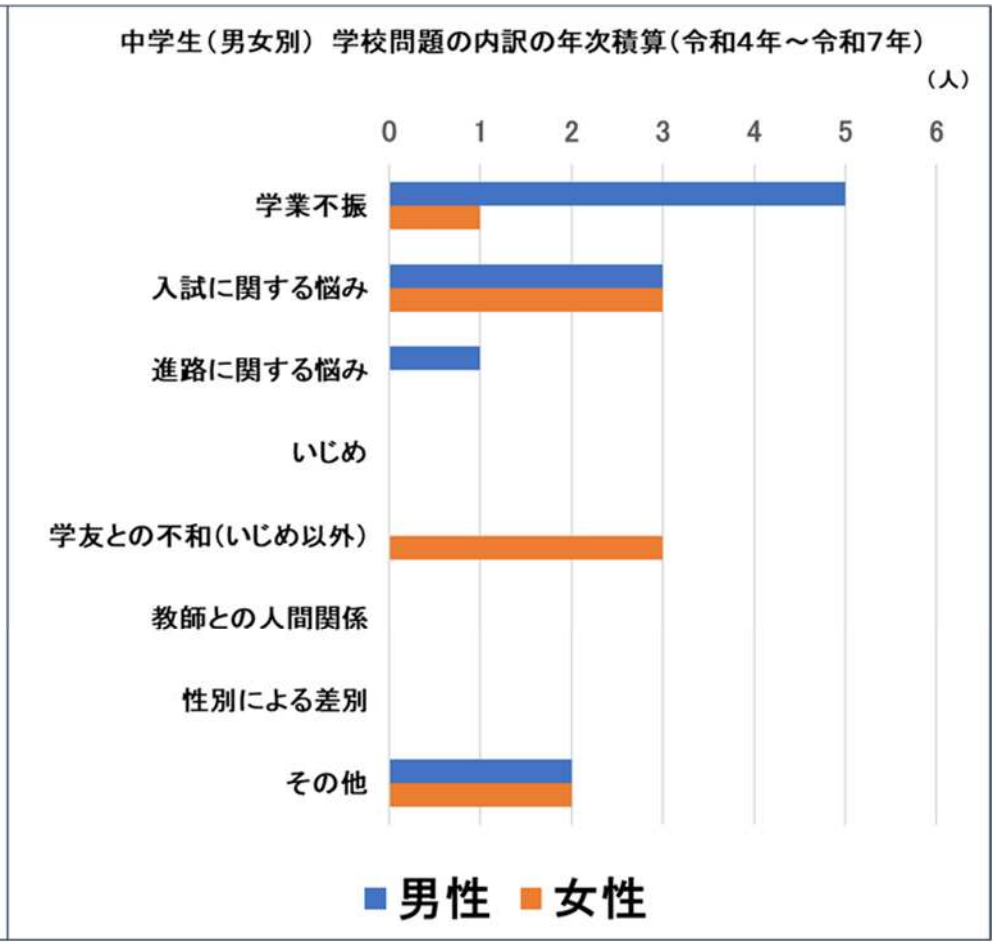


【神奈川県】小中高生自殺者数　男女別・動機別年次積算（令和4年～令和7年）

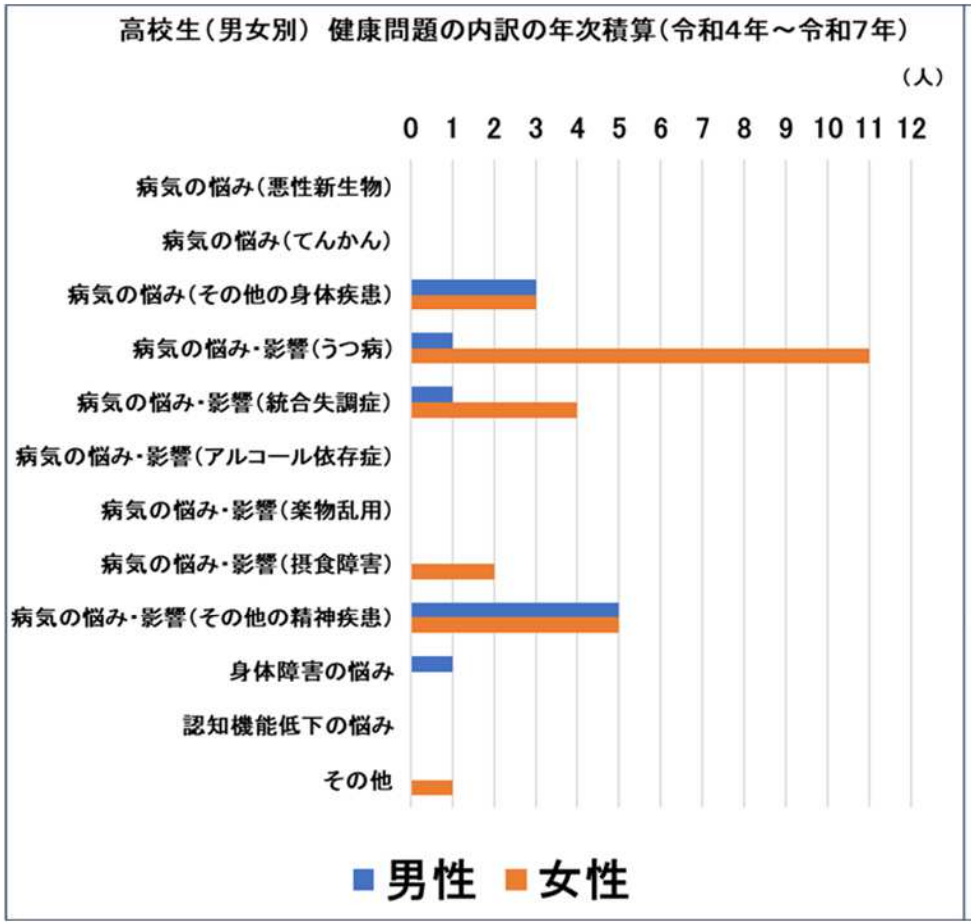


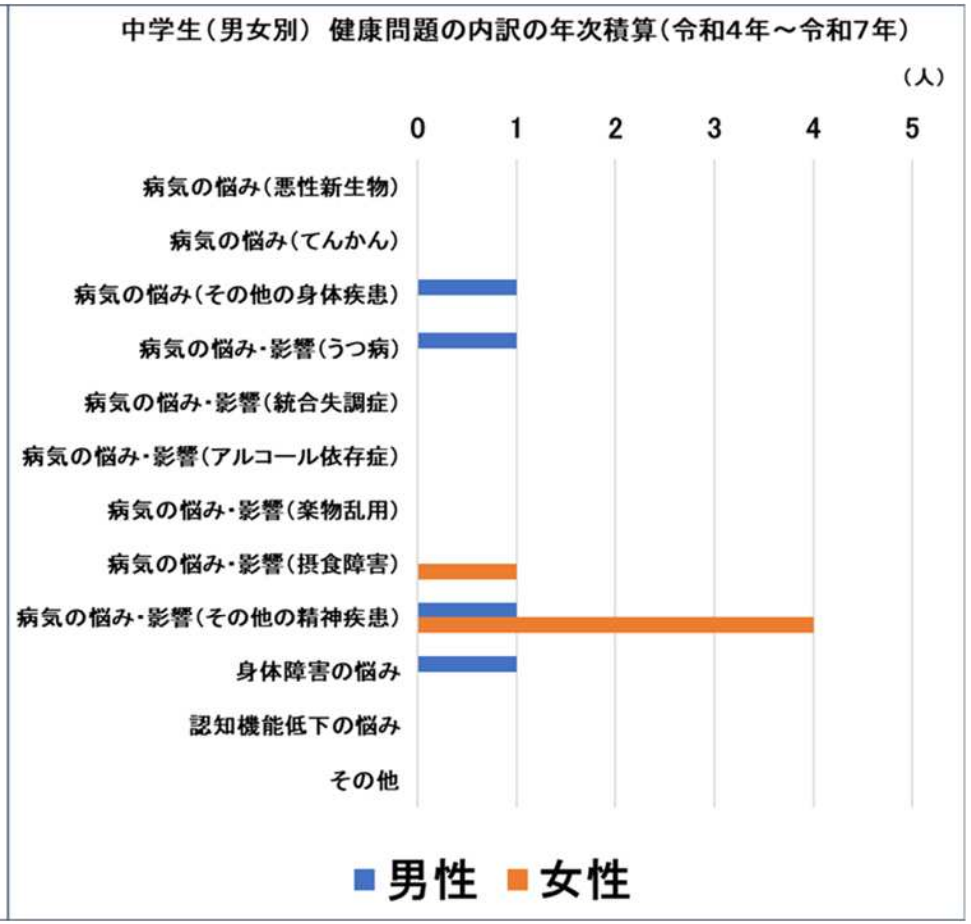
【神奈川県】　学校問題の内訳の年次積算（令和4年～令和7年）





【神奈川県】　健康問題の内訳の年次積算（令和4年～令和7年）





神奈川県
小中高生の傾向

＊令和４～７年の積算値である

＊令和6年のみ、女子が男子より自殺者が多かった

＊原因動機別では、男女とも学校問題が最も多く、男子では家庭問題、健康問題が続き、女子では健康問題が学校問題とほぼ同数で、家庭問題が続いた

＊学校問題では、男子は学業に関する動機が多く、女子は学友との不和が多かった

＊健康問題では、女子が男子の２倍多く、中学生女子ではその他の精神疾患における病気の悩み・影響が最も多く、高校生女子ではうつ病が最も多かった

まとめ

令和７年度神奈川県の自殺の状況は、

・自殺者数は、111人減少し、1231人。前年同様に全国で２番目の高値。

・自殺死亡率は、13.4で、全国で４番目の低値。

・年代別自殺者数は、50歳代、20歳代、40歳代の順で多い。

・20歳未満、80歳以上の自殺者数は、前年より増加した。

・月別では、4月と10月前後に大きな山があるが、20歳未満では3月、8月、9月に自殺者数が多かった。

・原因・動機別では、「健康問題」、「経済・生活問題」、「家庭問題」、「勤務問題」の順に多い。20歳未満では、男子は「学校問題」が、女子は「健康問題」が半数を占めた。

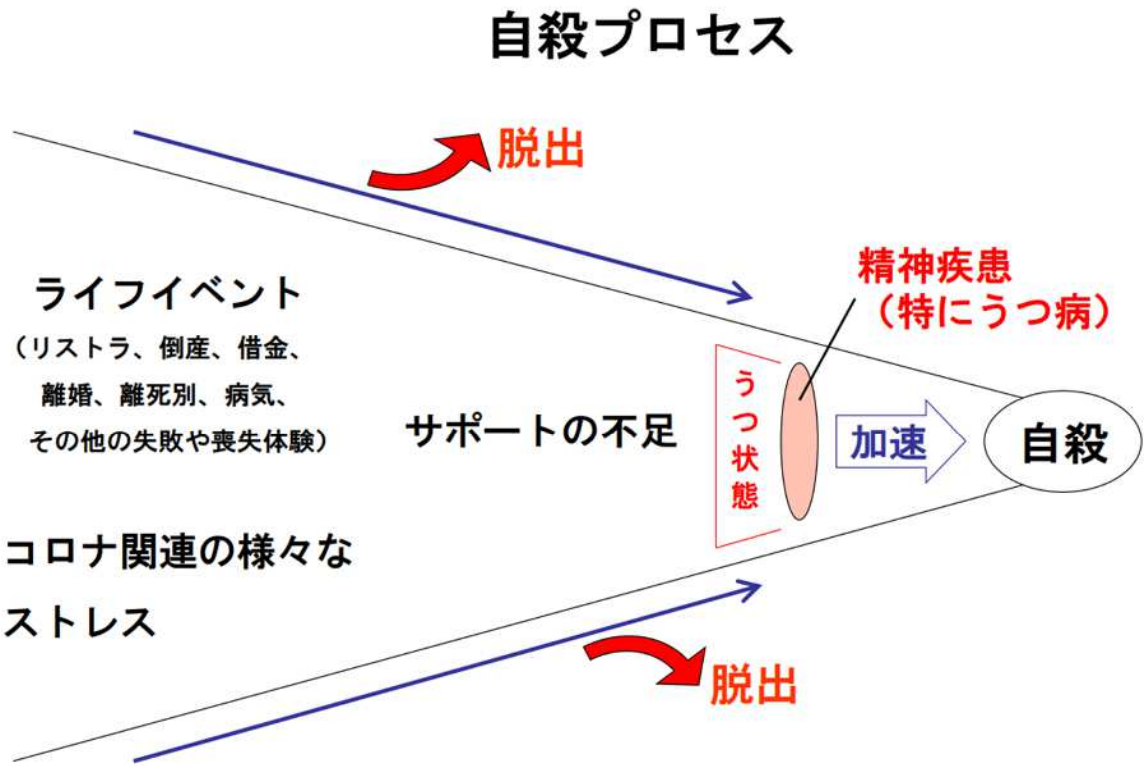
・手段では「首つり」が、場所では「自宅等」が多い。

・自殺未遂歴の有無は、女性では約3割にみられ、若年女性に多い傾向があり、20歳未満では半数を占めた。

施策展開（かながわ自殺対策計画第2期）

1. 地域レベルの実践的な取組への支援を強化する
2. 県民一人ひとりの気付きと見守りを促す
3. 自殺対策に係る人材の確保、養成および資質の向上を図る
4. 心の健康を支援する環境の整備と心の健康づくりを推進する
5. 適切な精神保健医療福祉サービスを受けられるようにする
6. 社会全体の自殺リスクを低下させる
7. 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ
8. 遺された人への支援を充実する
9. 民間団体との連携を強化する
10. 子ども・若者の自殺対策を更に推進する
11. 勤務問題による自殺対策を更に推進する
12. 女性の自殺対策を更に推進する

生きることの阻害因子
ウェルテル効果



張 賢徳 Jpn J Psychosom Med 56:781-788, 2016
（作成 ： 張 賢徳 ）[5]

生きることの保護因子
パパゲーノ効果